

日本電子 (株) 決算説明会

JEOL

(Japan Electron Optics Laboratory)



平成13年 6月 8日

Contents

平成13年 3月期決算の概要と今後の業績予想

常務取締役 大塚 東

今後の経営戦略

取締役社長 江藤 輝一

司会進行

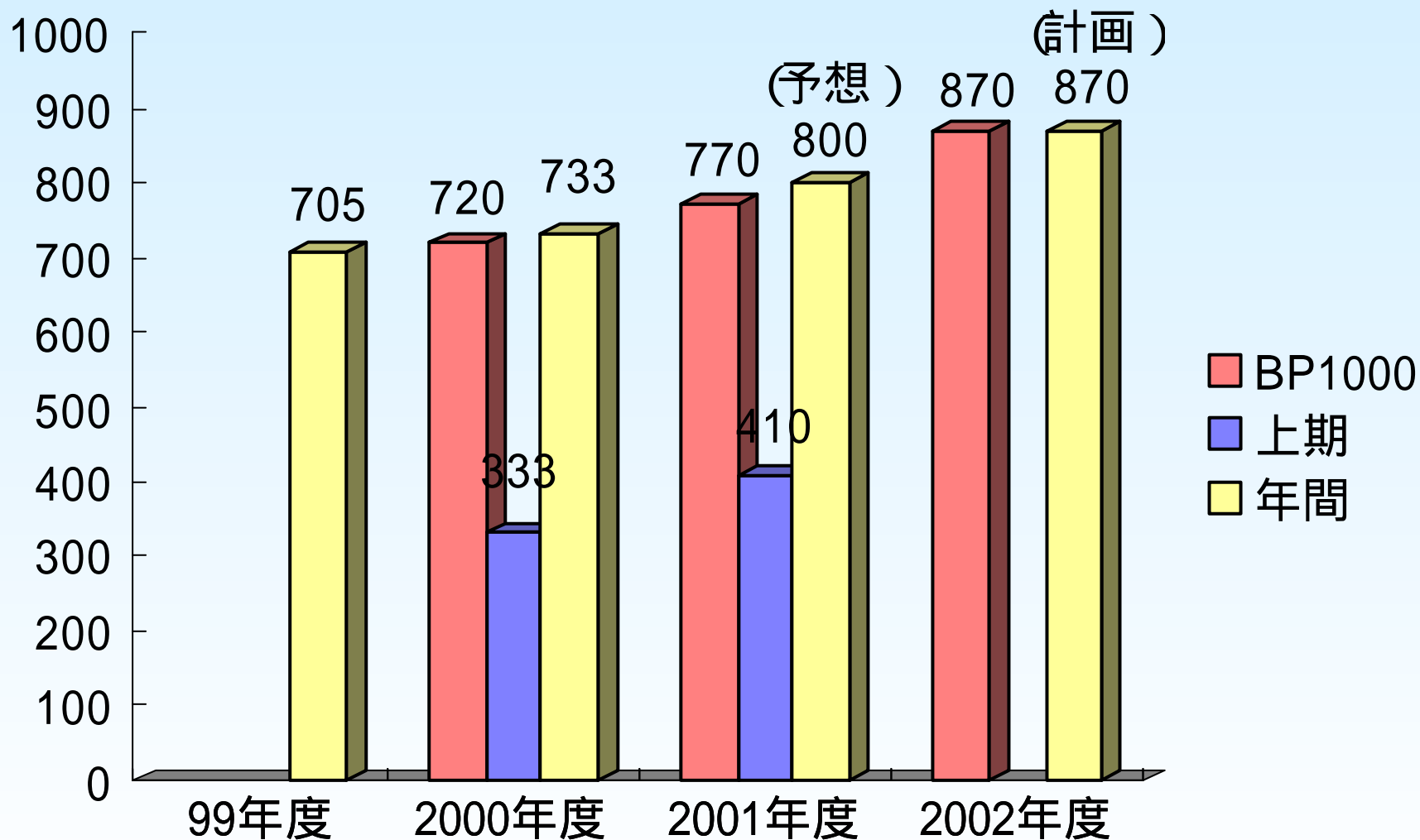
常務取締役 田中 政博

平成13年 3月期決算概要と 今後の業績予想

常務取締役 大塚 東

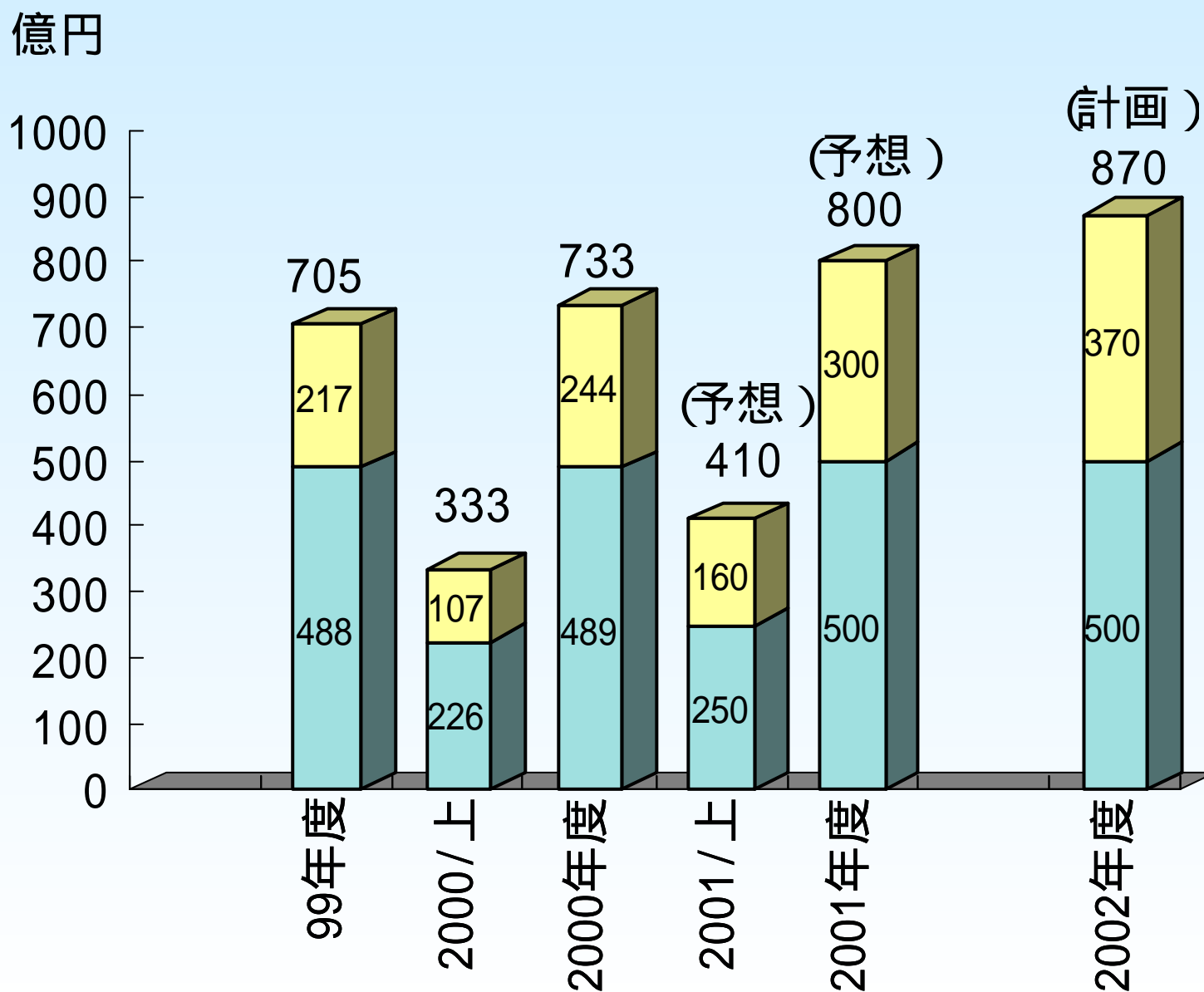
売上高 (連結)

億円

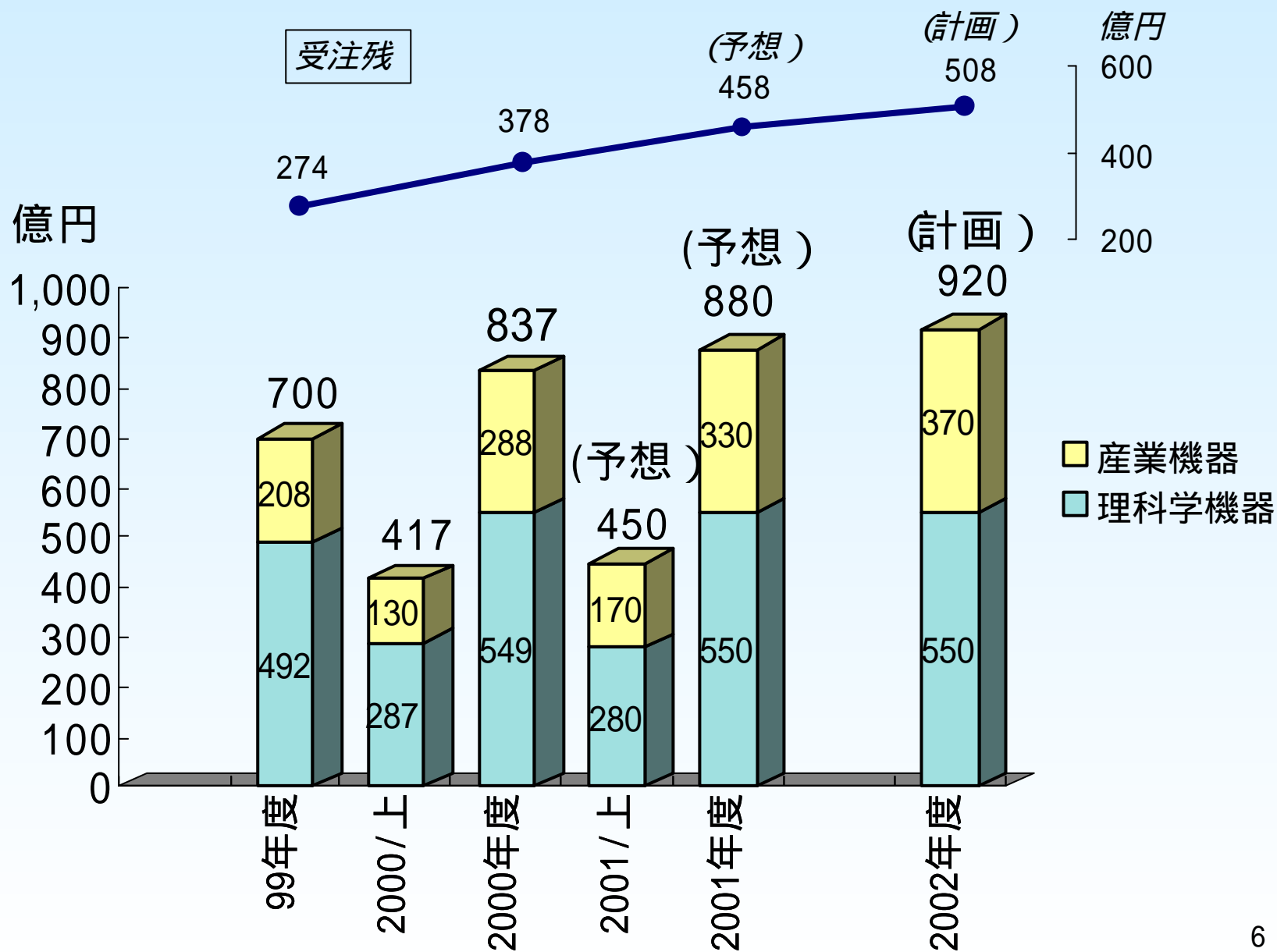


事業の種類別売上高 (連結)

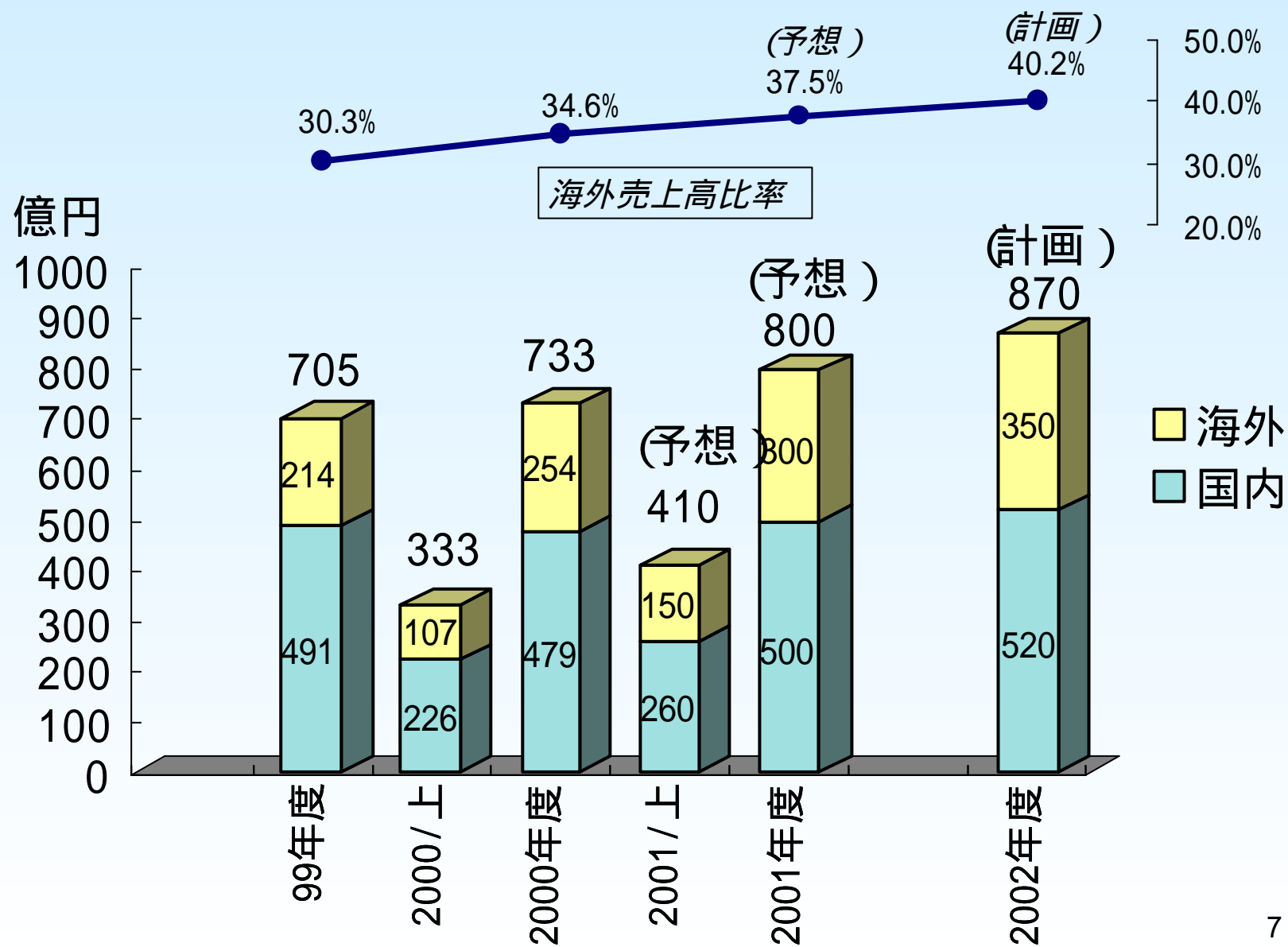
■ 産業機器
■ 理科学機器



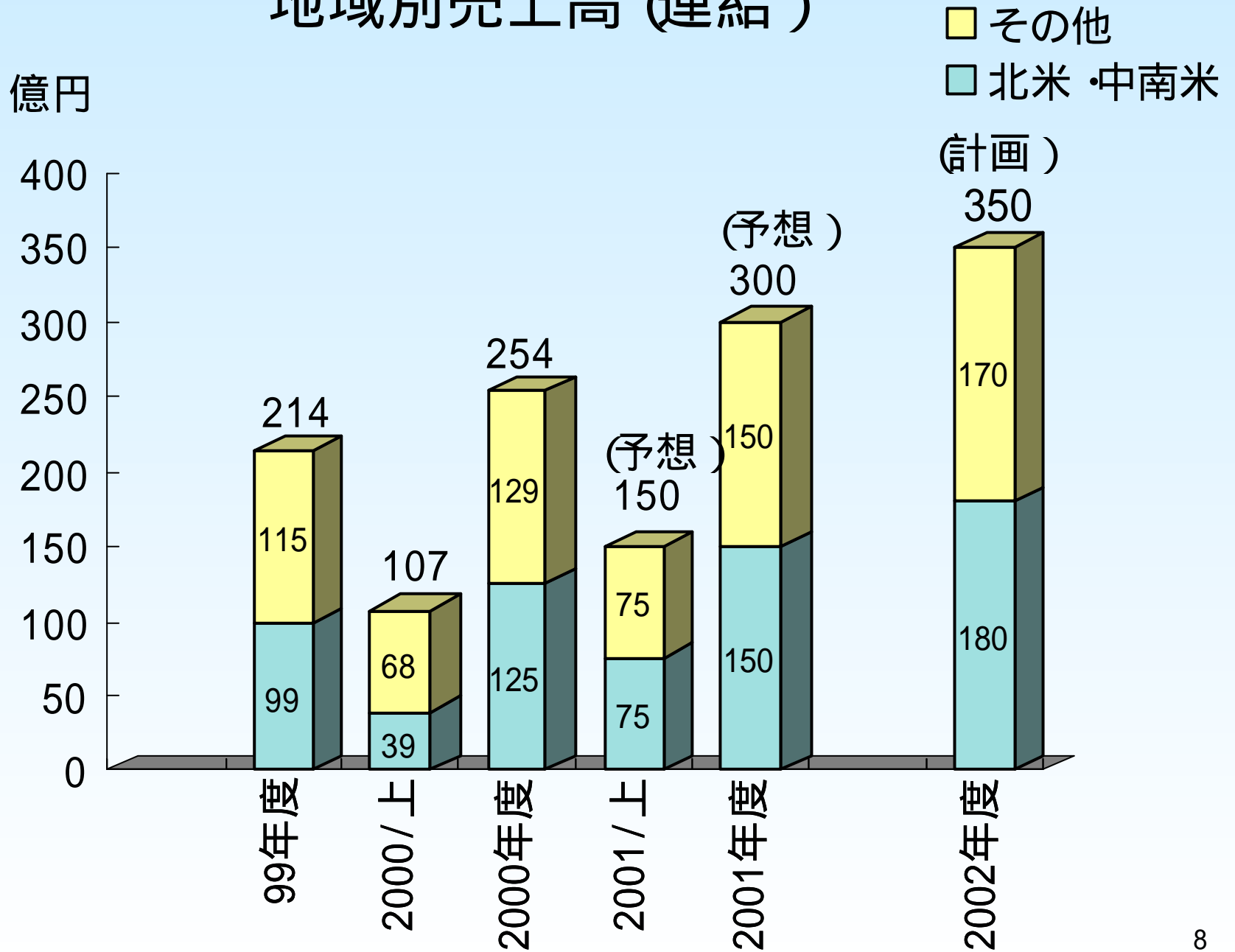
事業の種類別受注高と受注残 (連結)



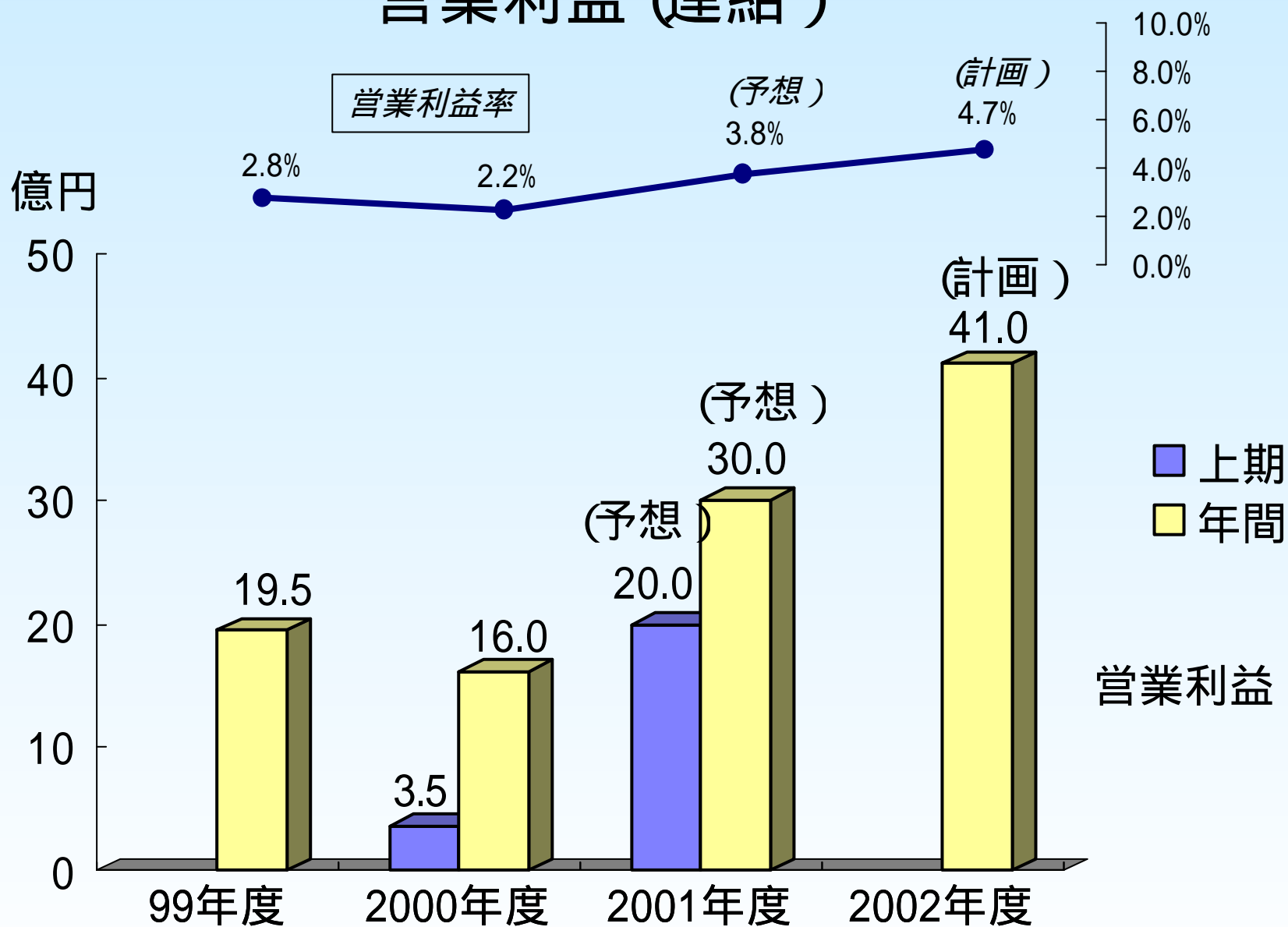
海外売上高と海外売上高比率 (連結)



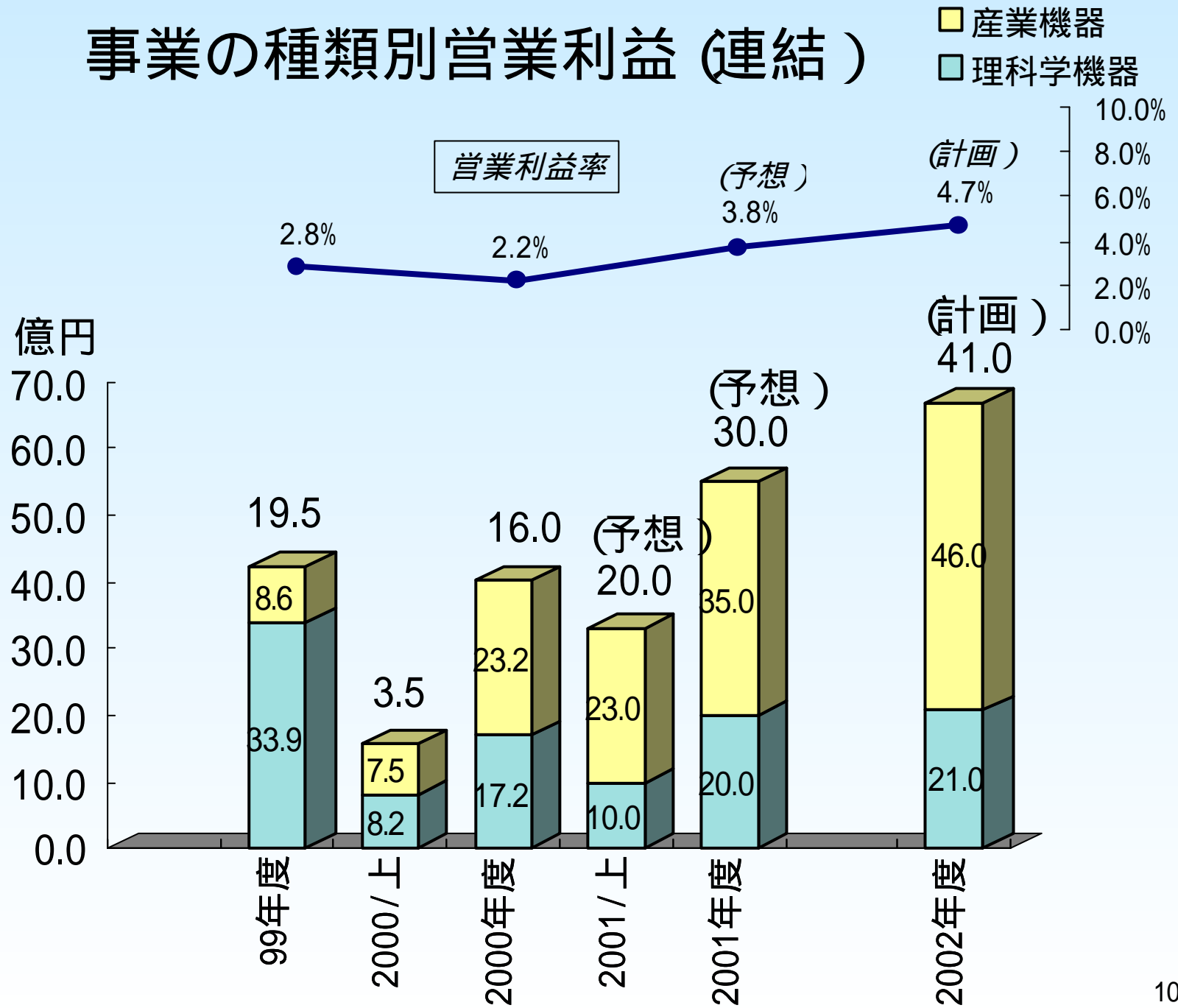
地域別売上高 (連結)



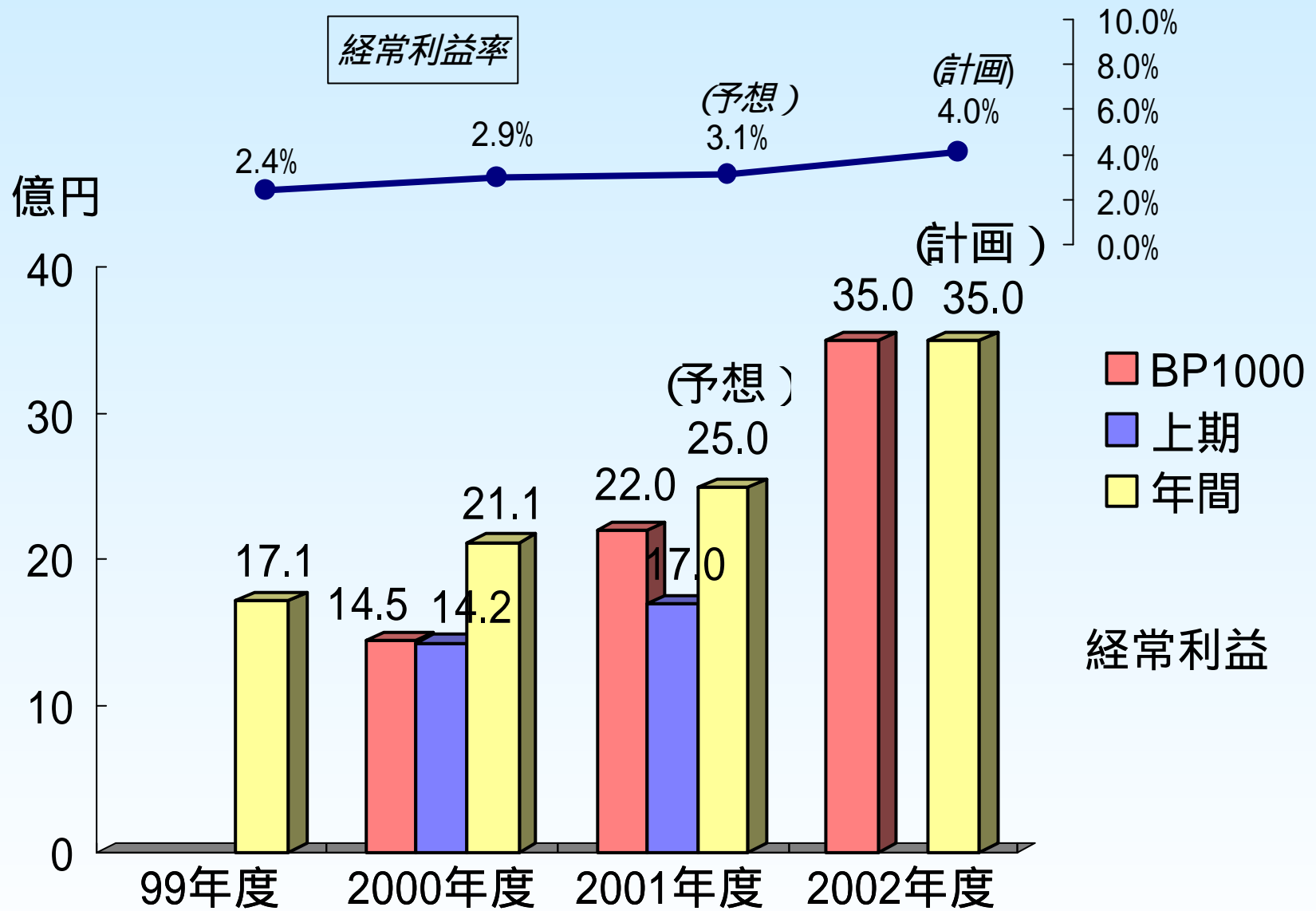
営業利益 (連結)



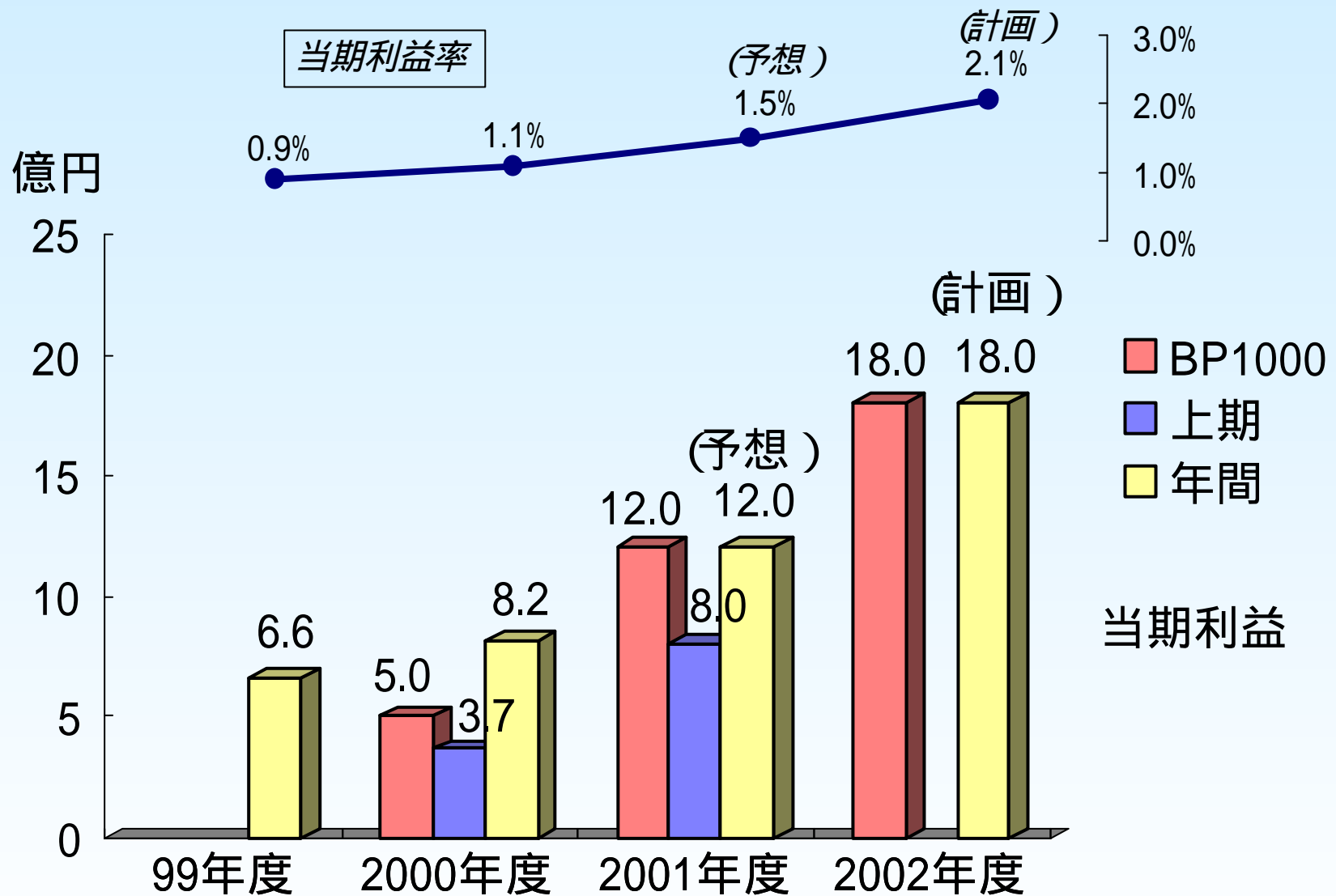
事業の種類別営業利益 (連結)



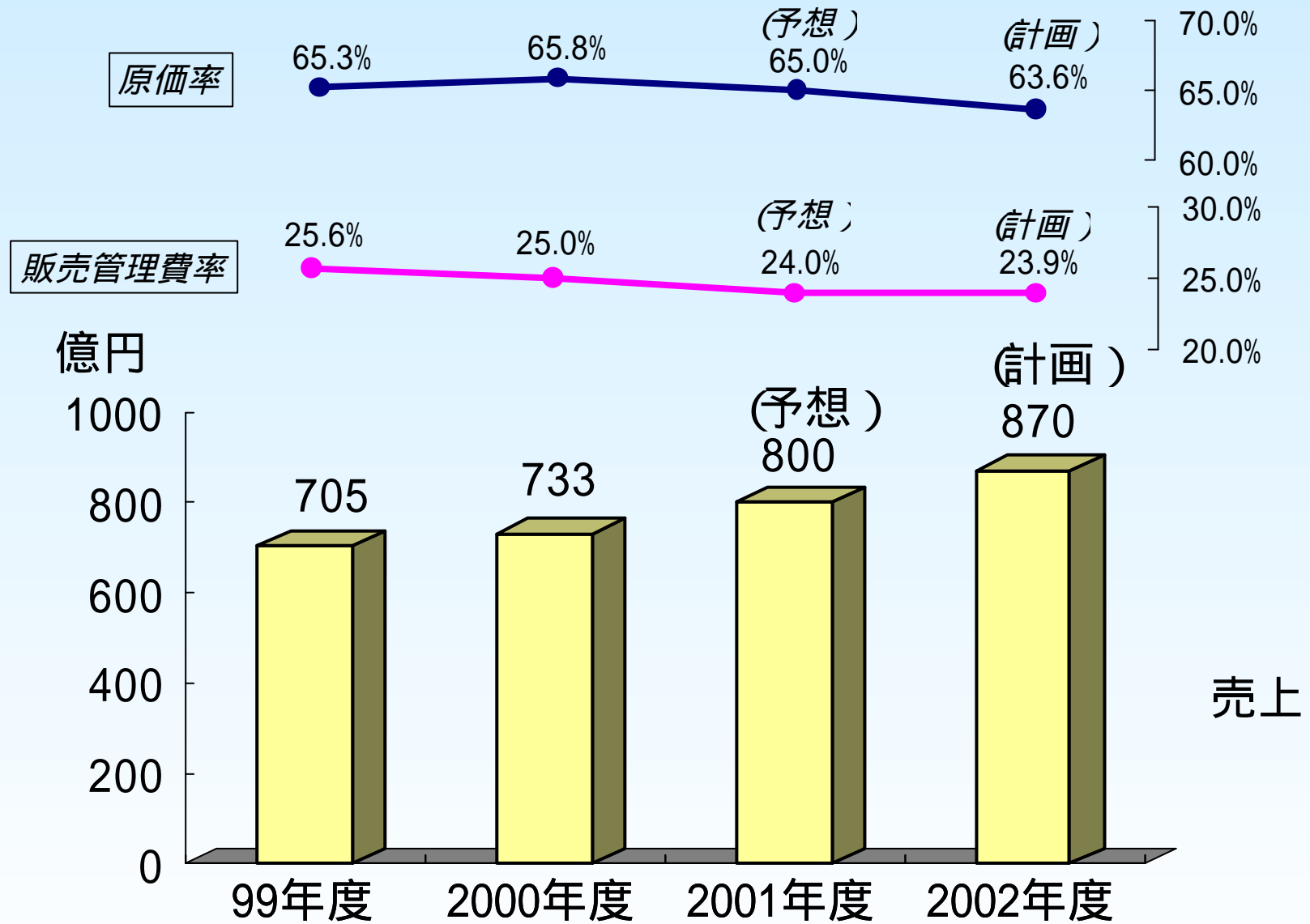
經常利益 (連結)



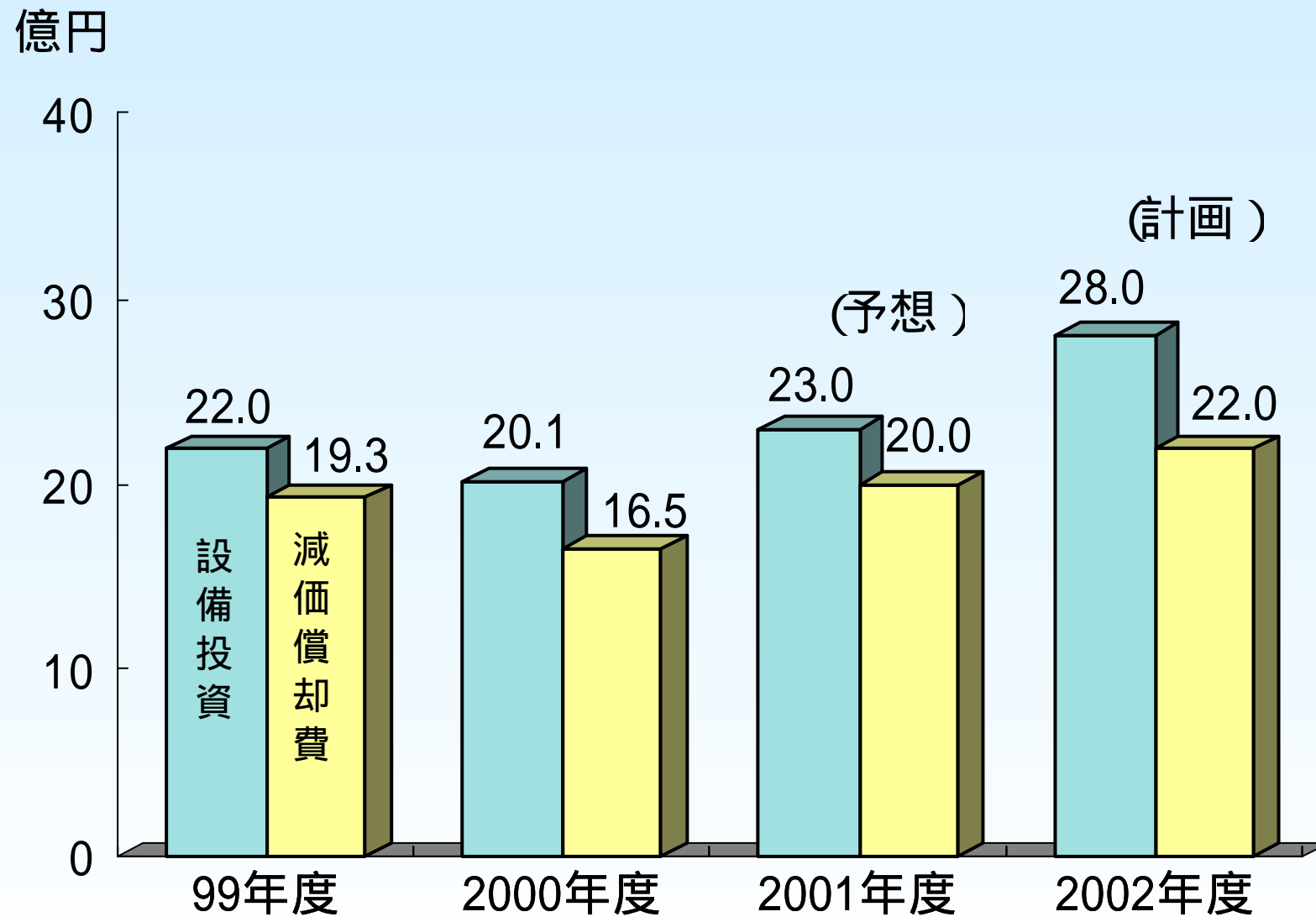
当期利益 (連結)



原価率と販管費率 (連結)



設備投資と減価償却費 (連結)

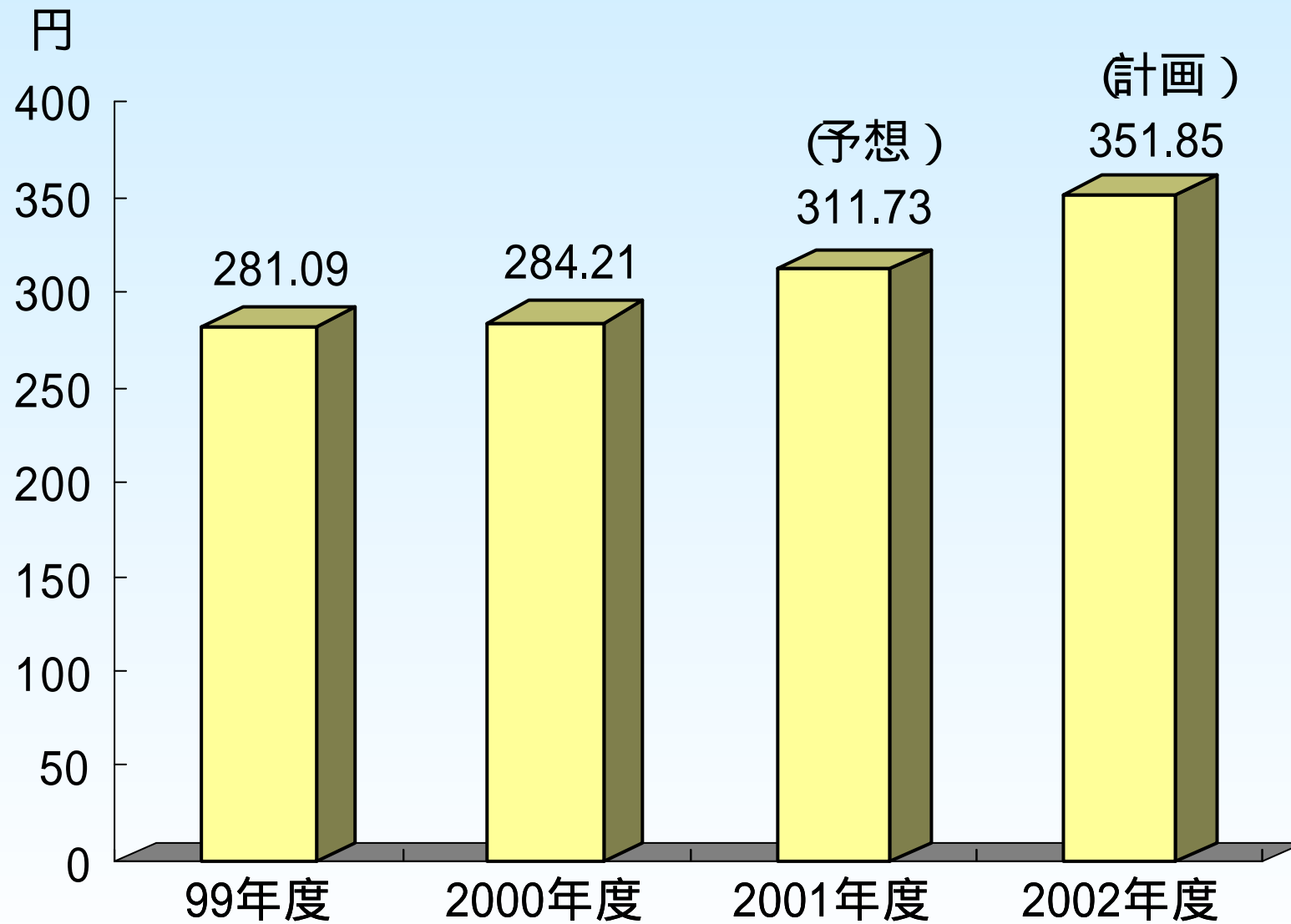


貸借対照表 (連結)

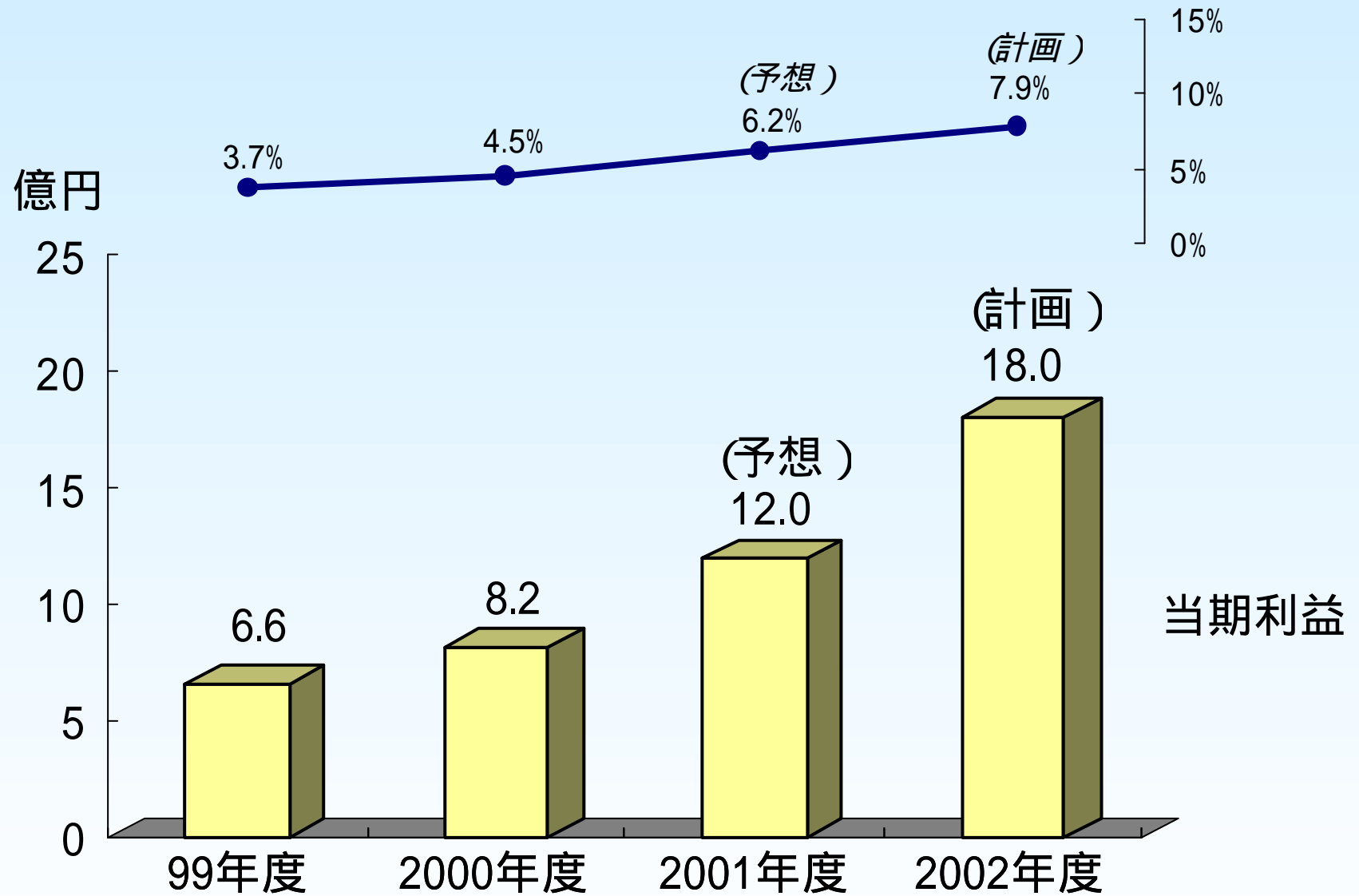
単位 : 億円

	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月
流動資産	549	670	583	531
内売掛債権	227	267	234	221
内棚卸資産	214	266	200	170
固定資産	159	176	199	209
総資産	724	846	782	760
流動負債	457	565	473	432
固定負債	83	96	105	98
株主資本	182	184	202	228
株主資本比率	25.2%	21.8%	25.8%	30.0%

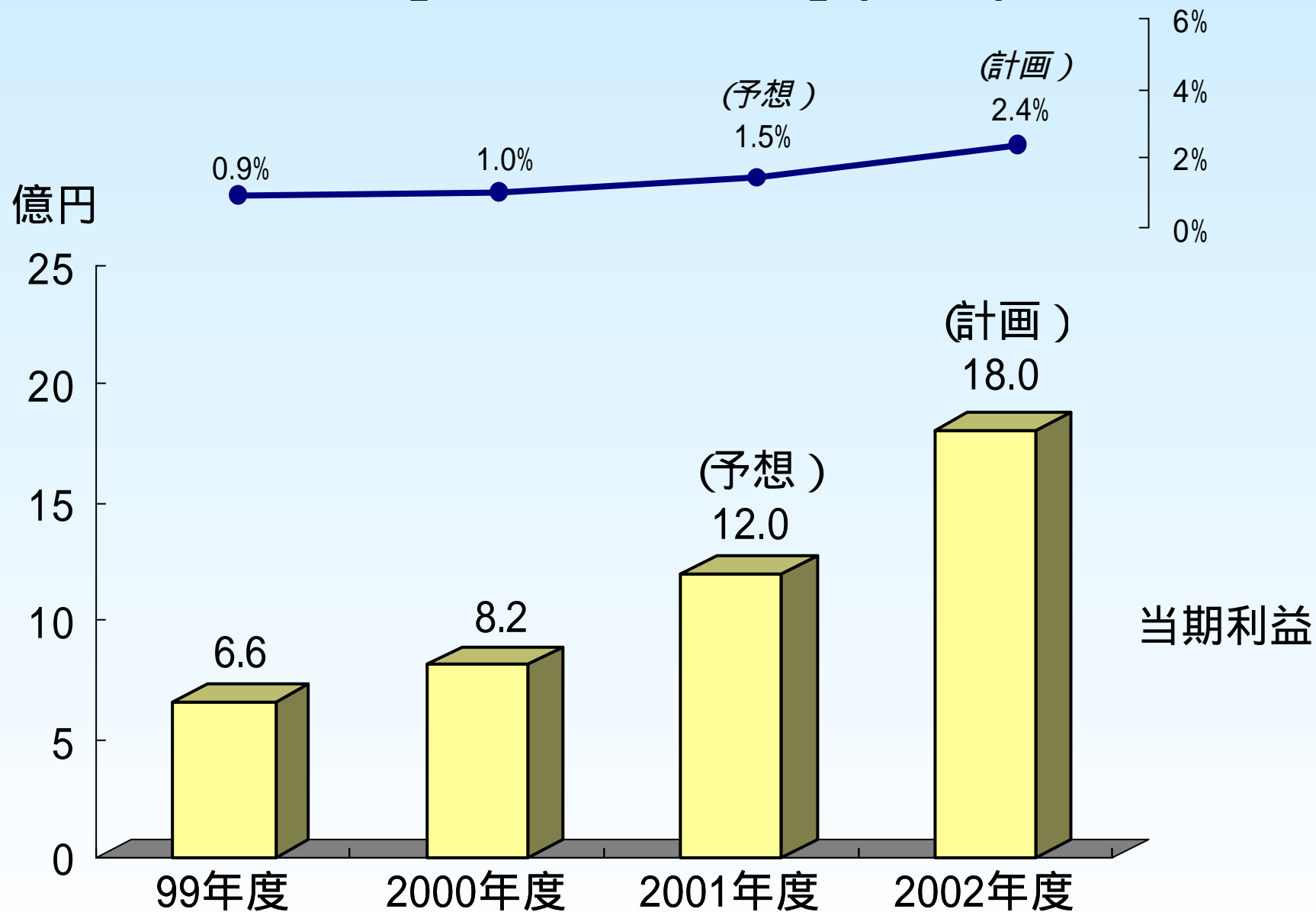
1株当たり株主資本 (連結)



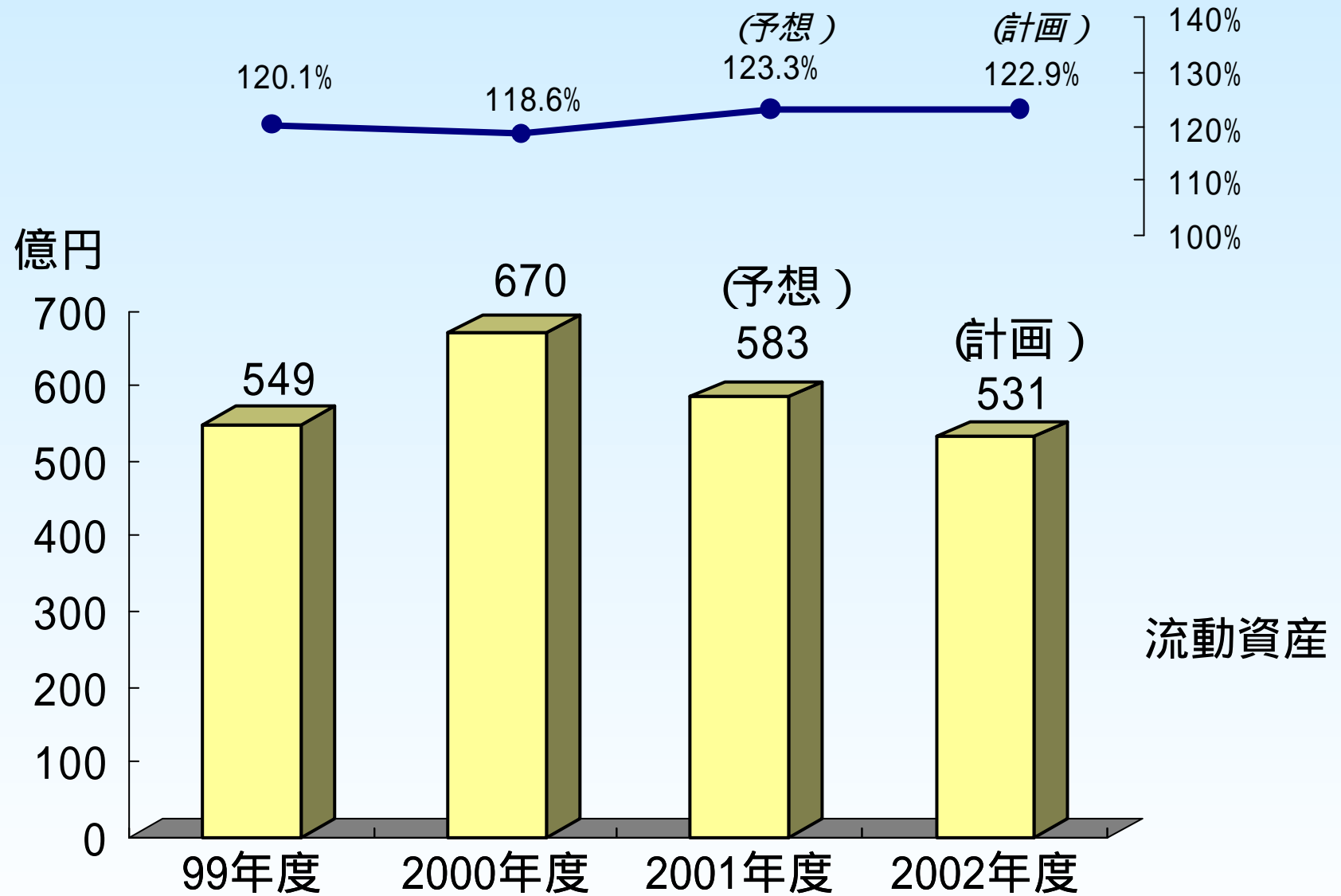
ROE [株主資本利益率] (連結)



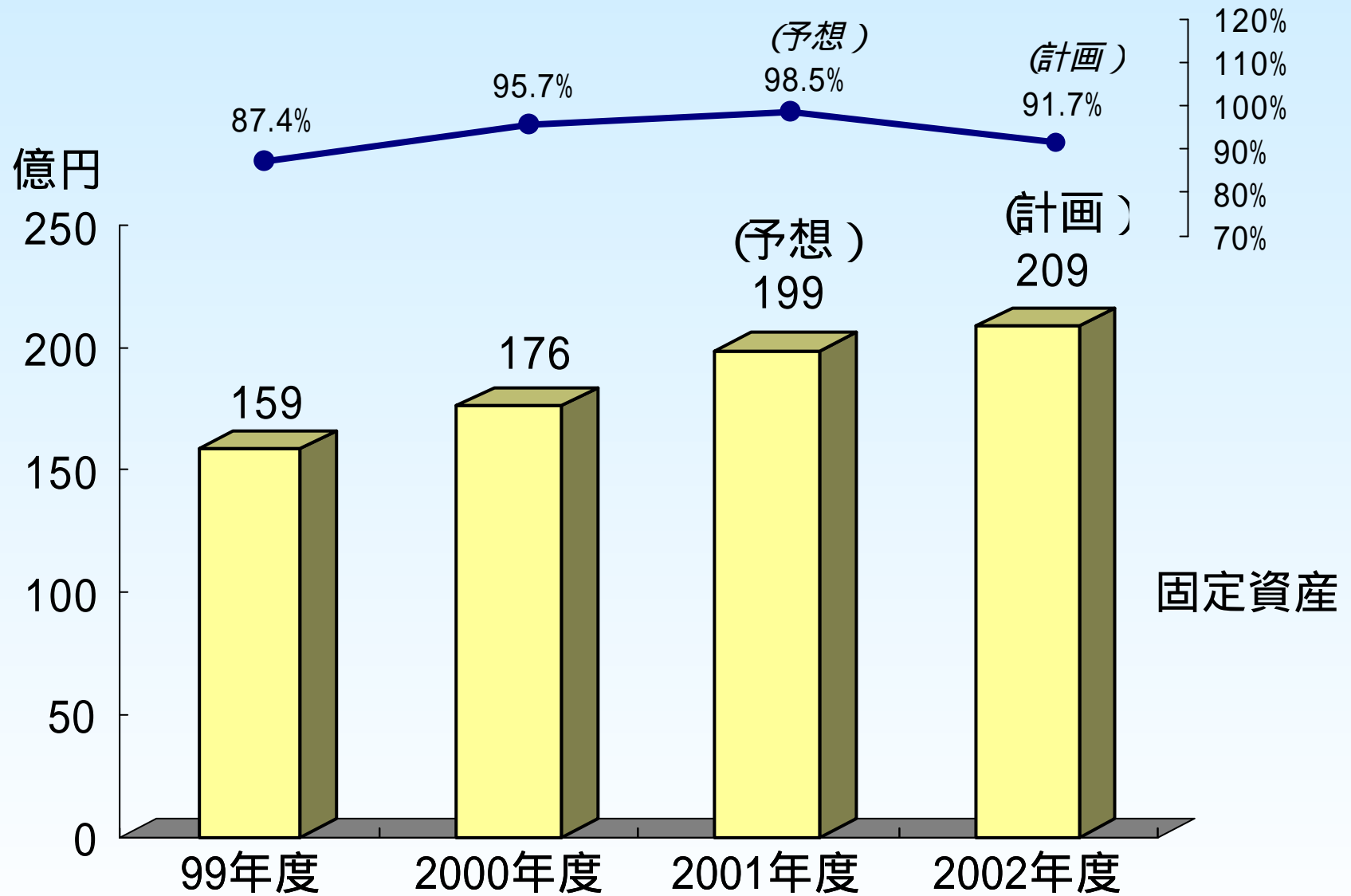
ROA [総資産利益率] (連結)



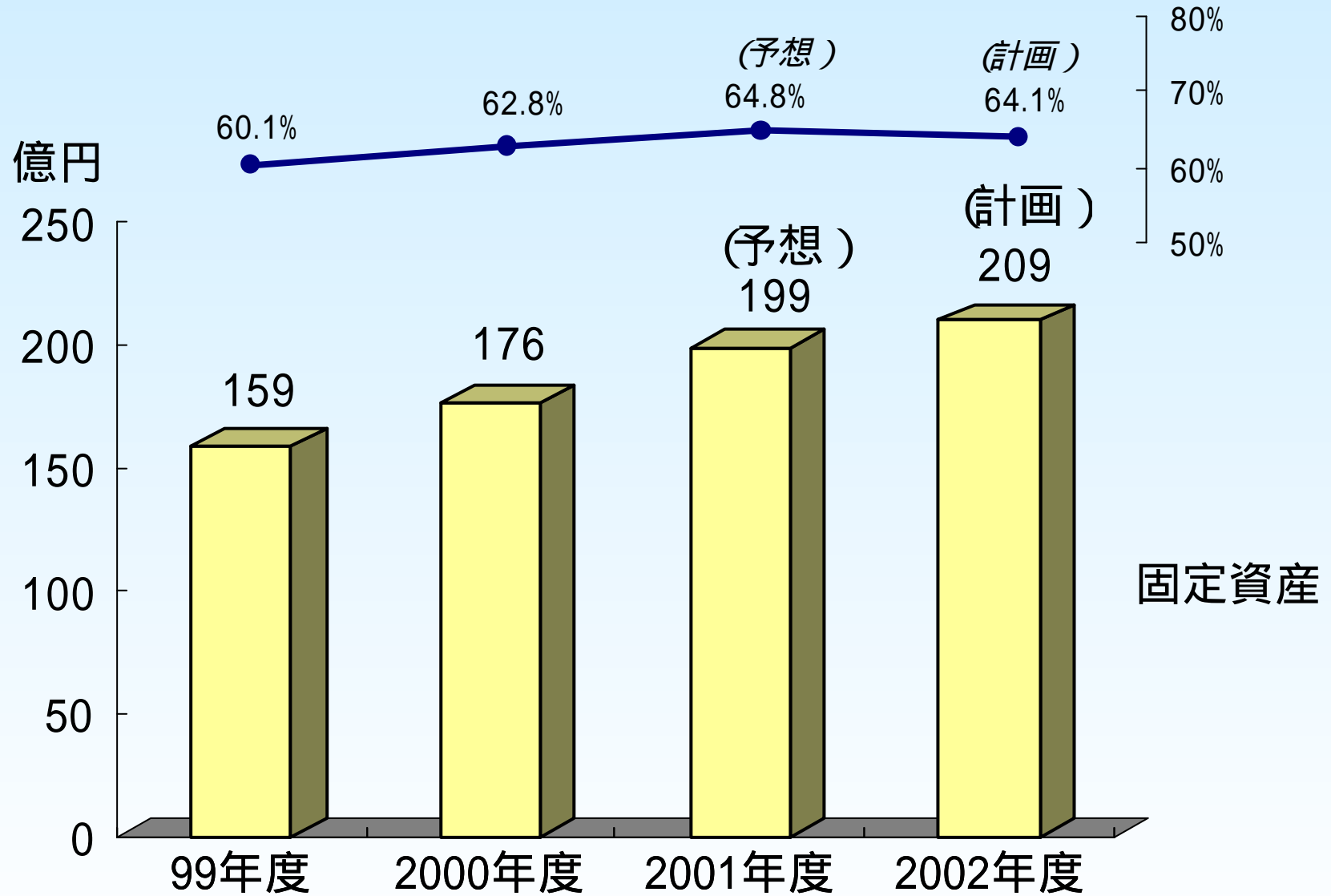
流動比率 (連結)



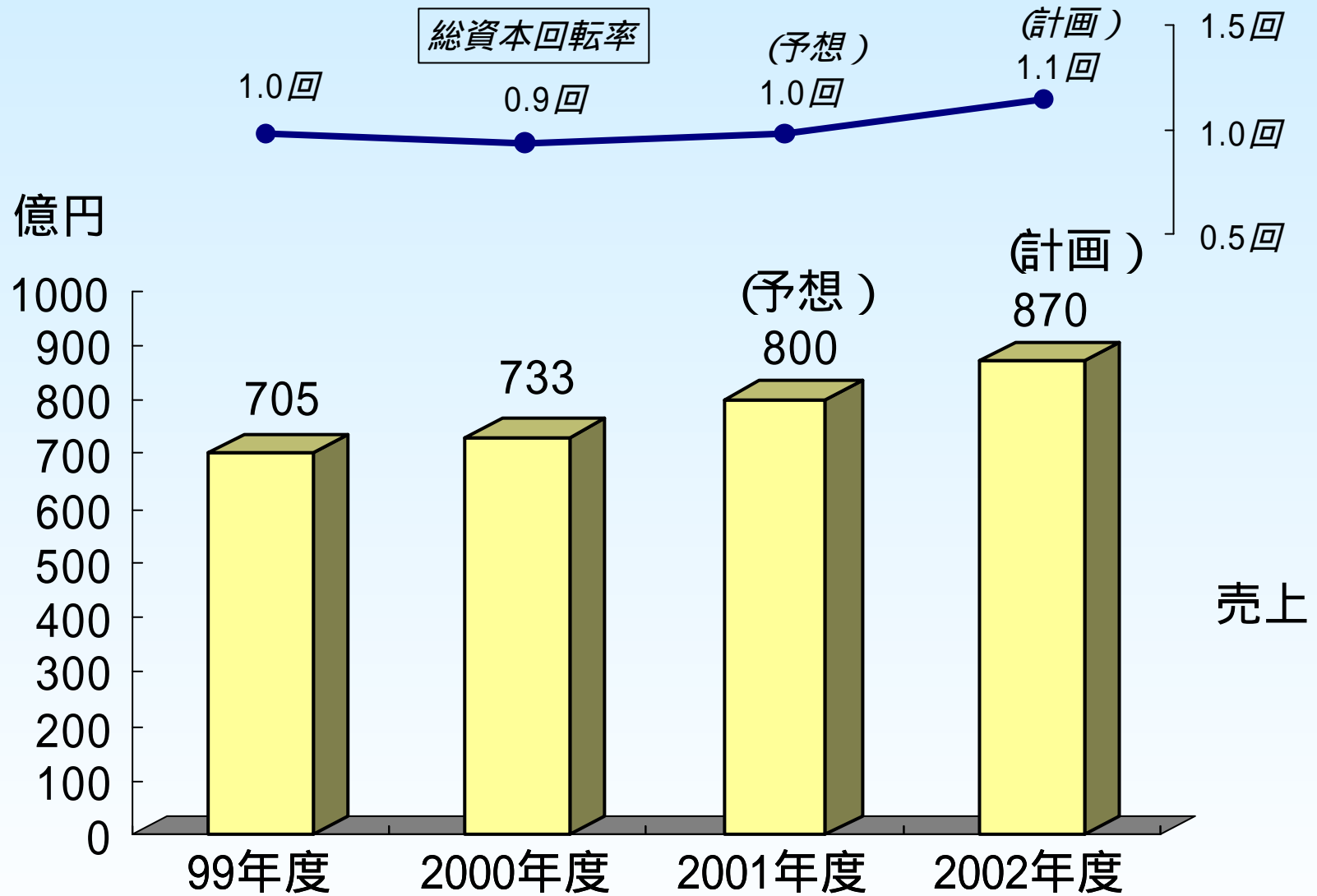
固定比率 (連結)



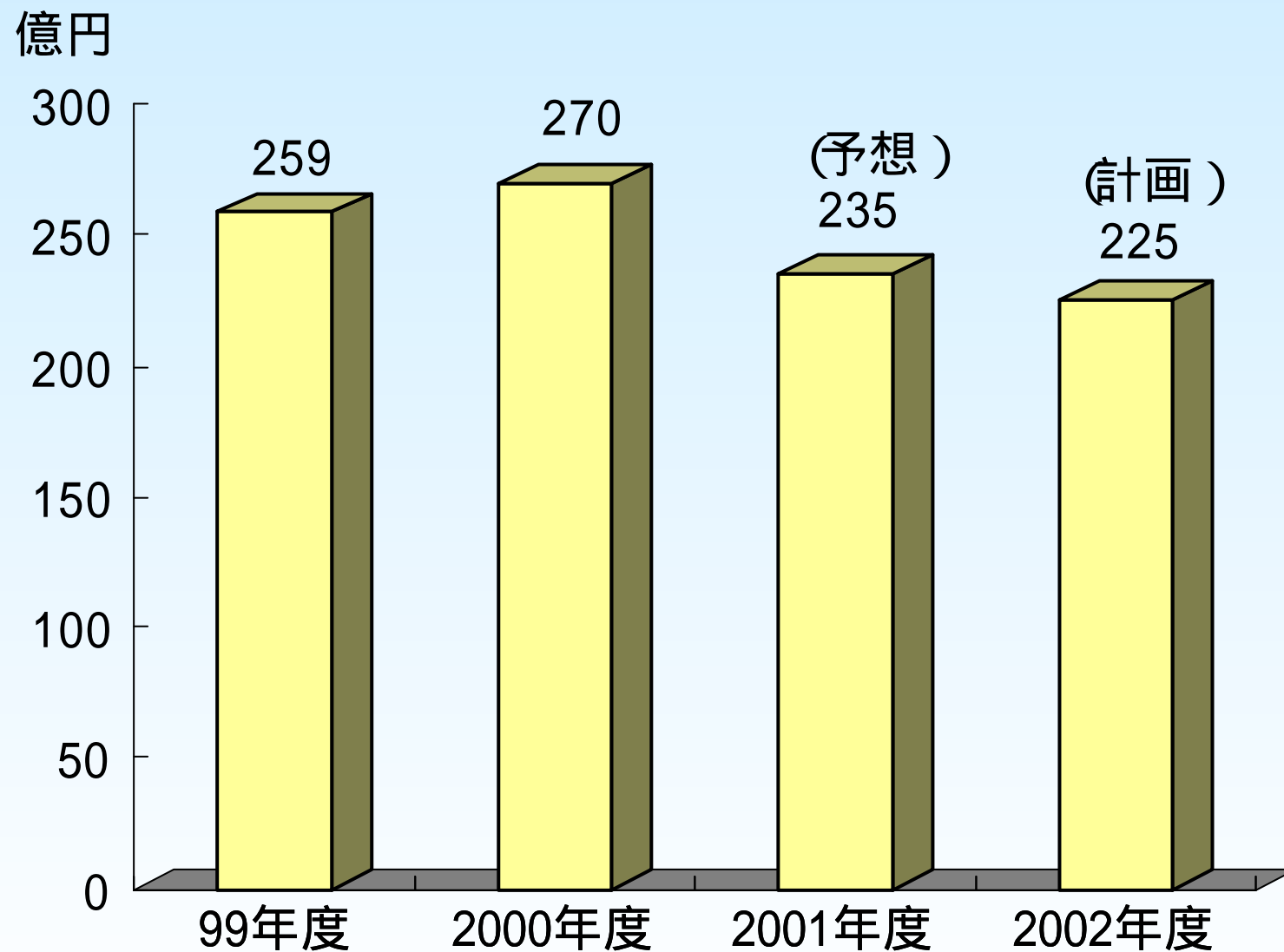
固定長期適合率 (連結)



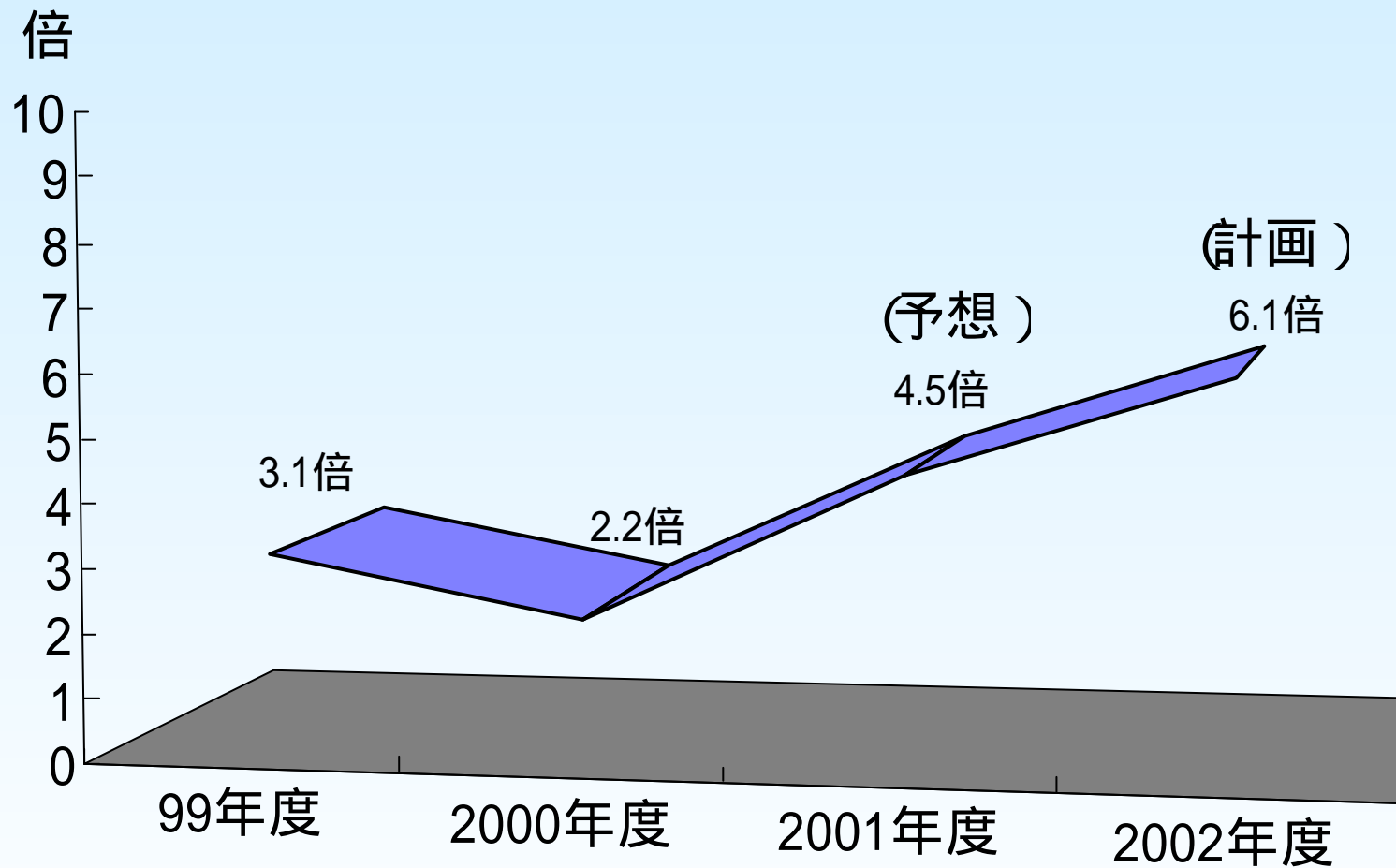
総資本回転率 (連結)



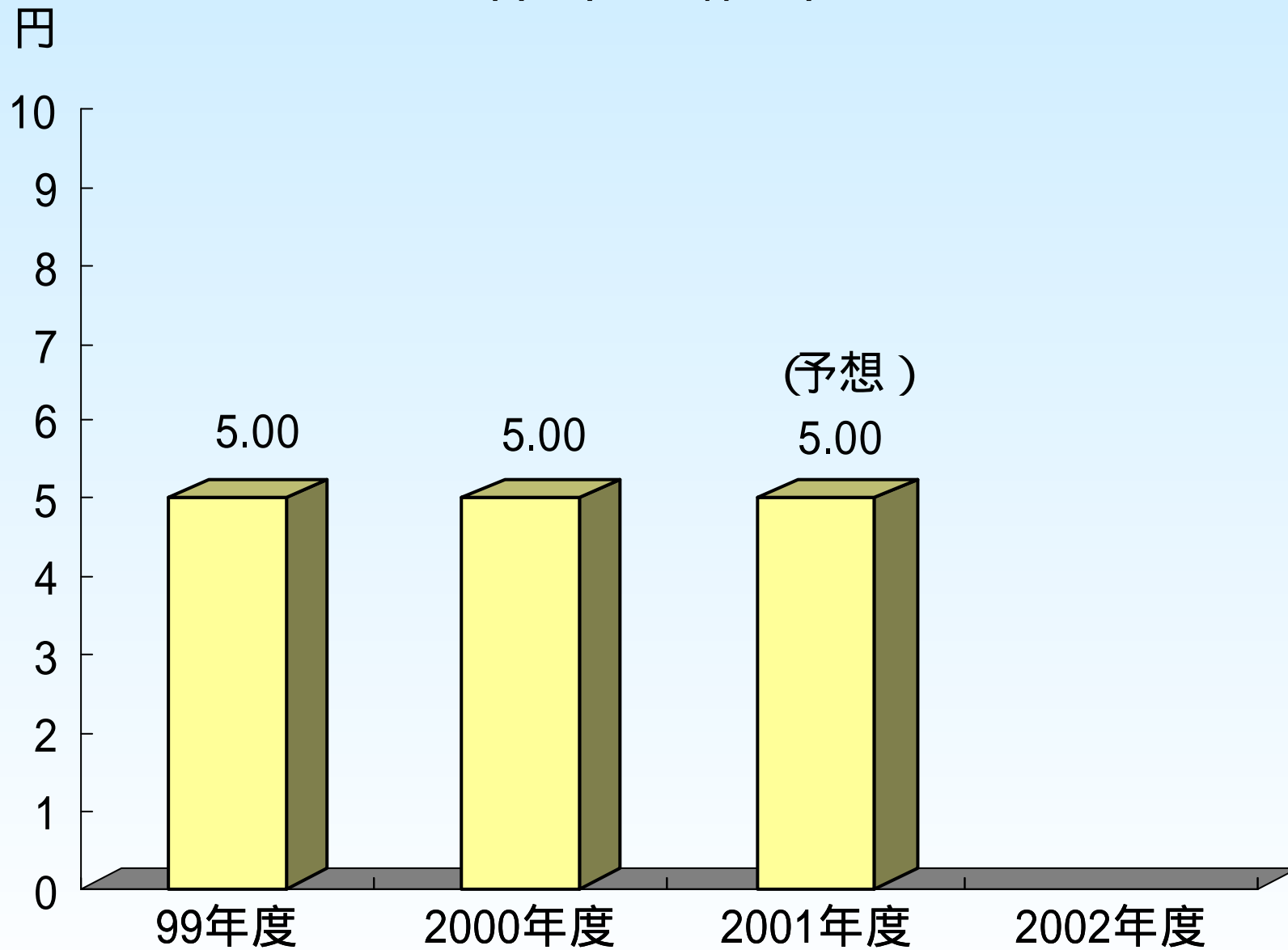
有利子負債 (連結)



インタレスト・カバレッジ・レシオ (連結)

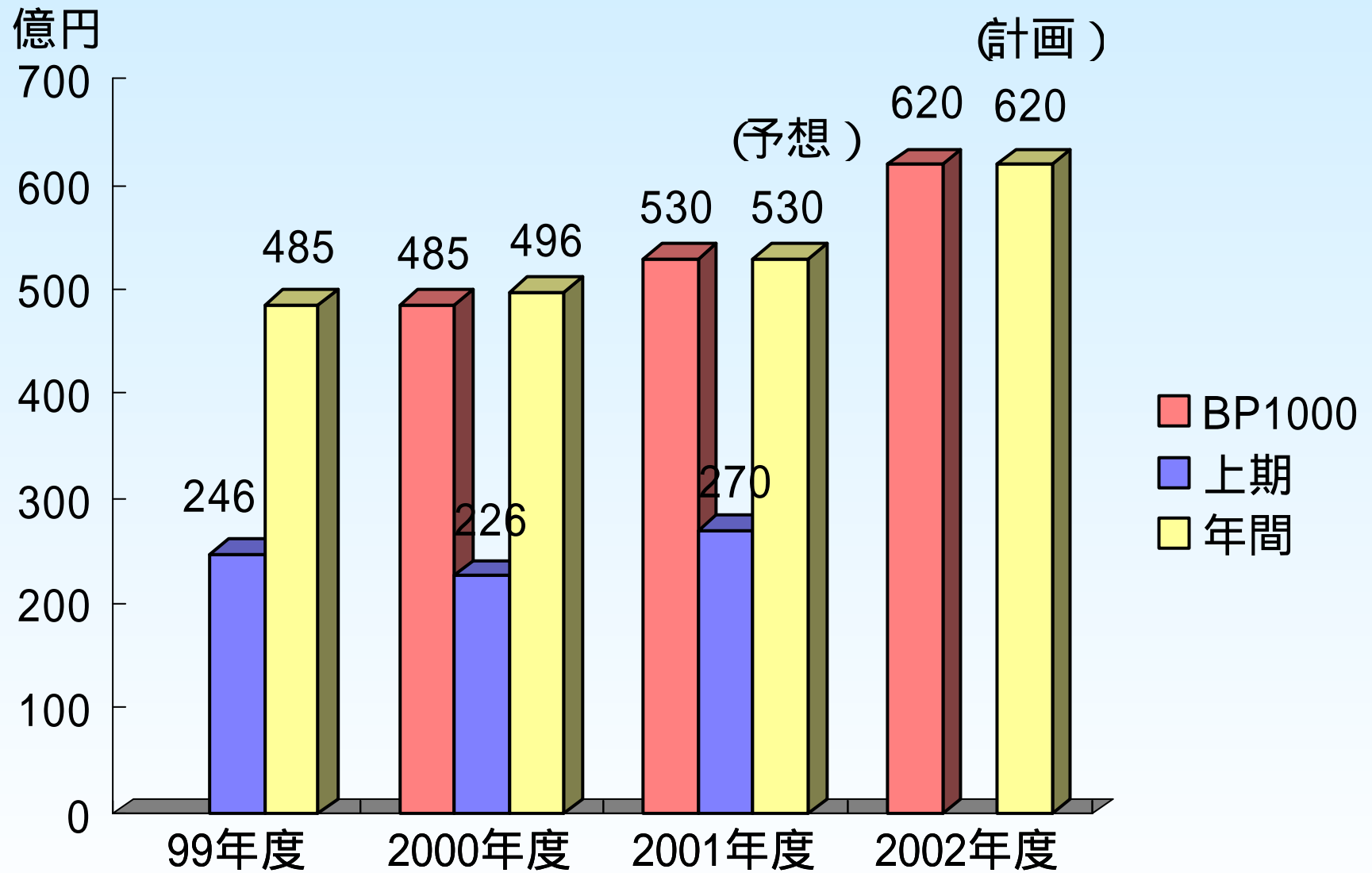


1株当たり配当金

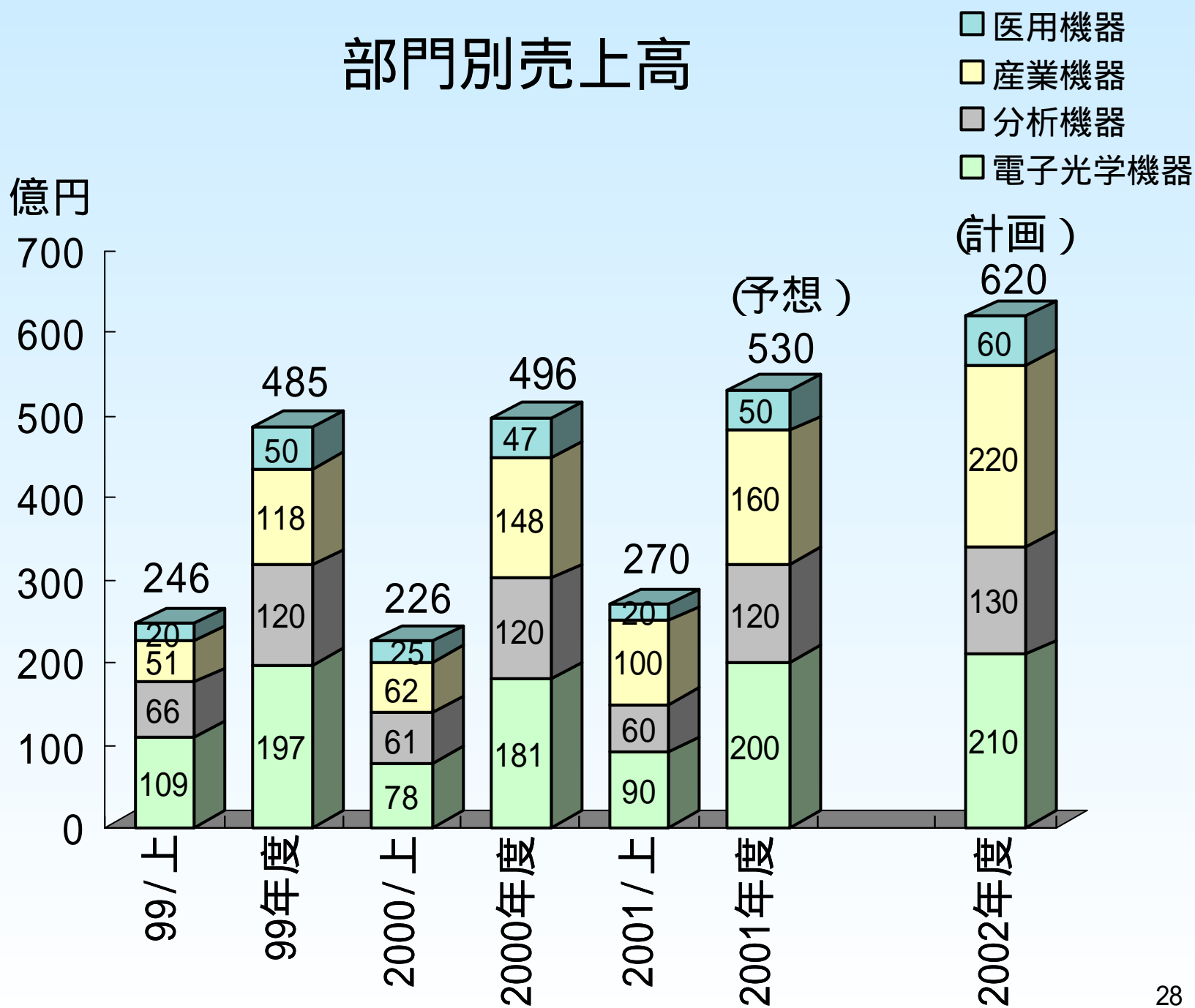


**平成13年 3月期決算概要と
今後の業績予想
(単独)**

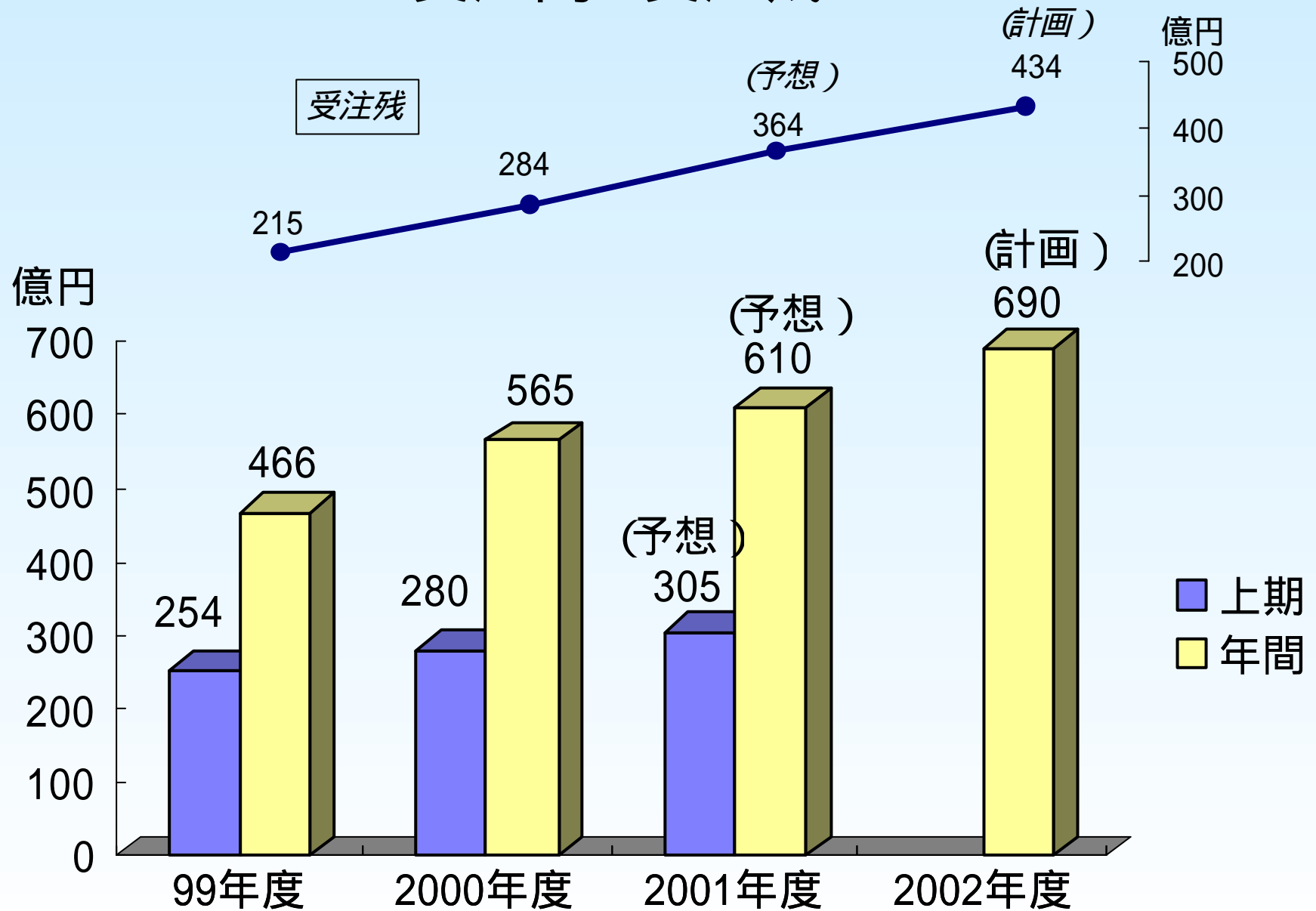
売上高



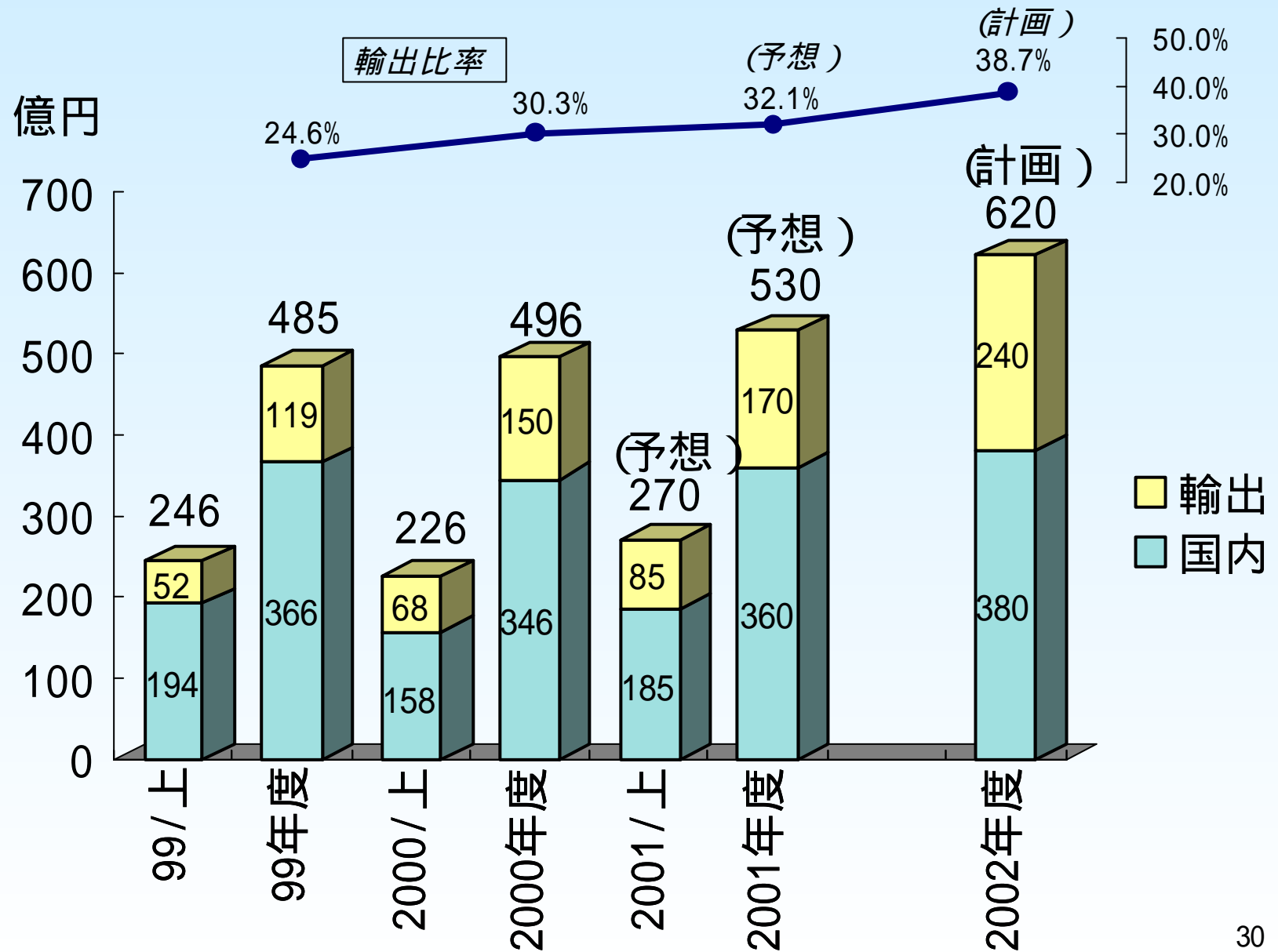
部門別売上高



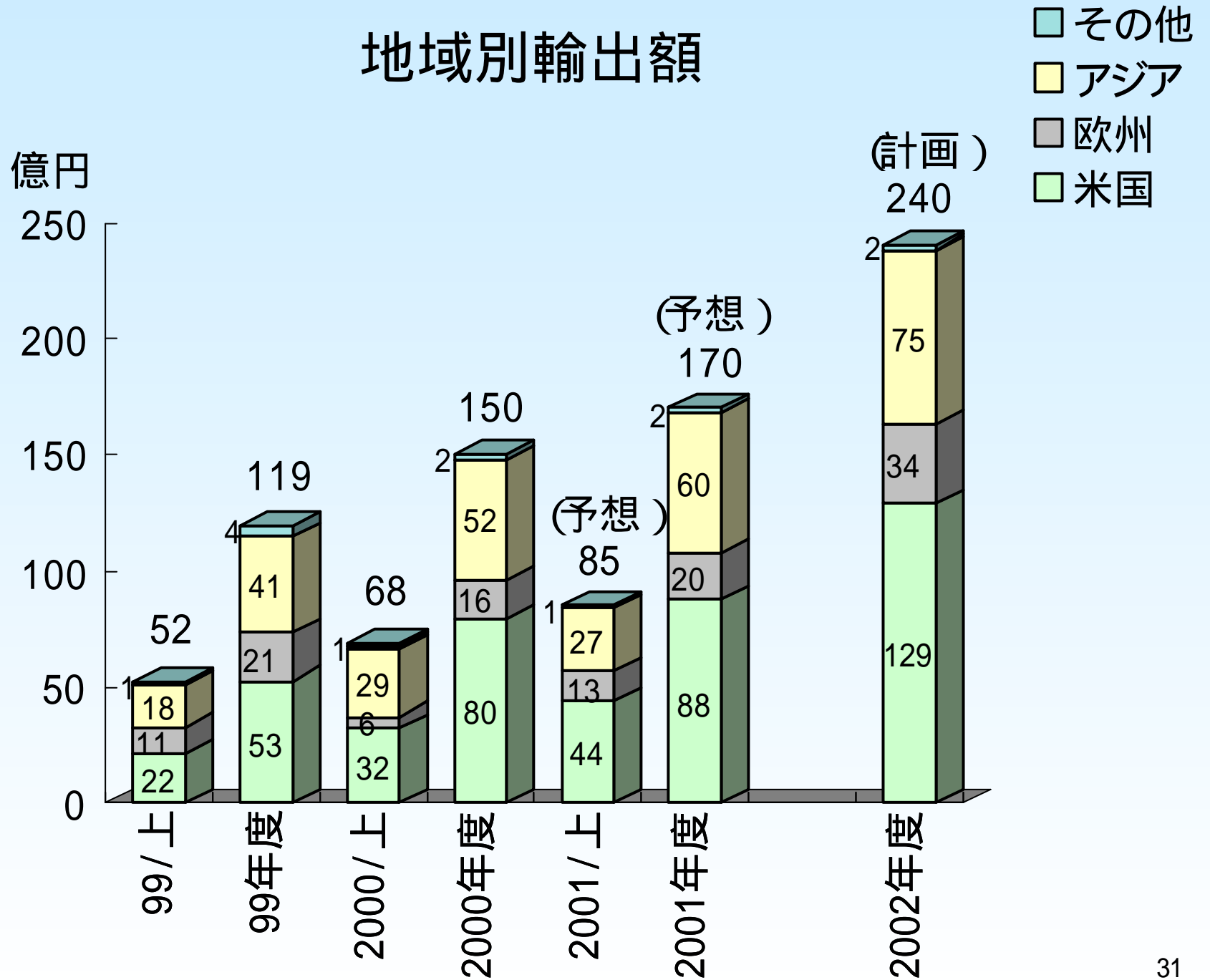
受注高と受注残



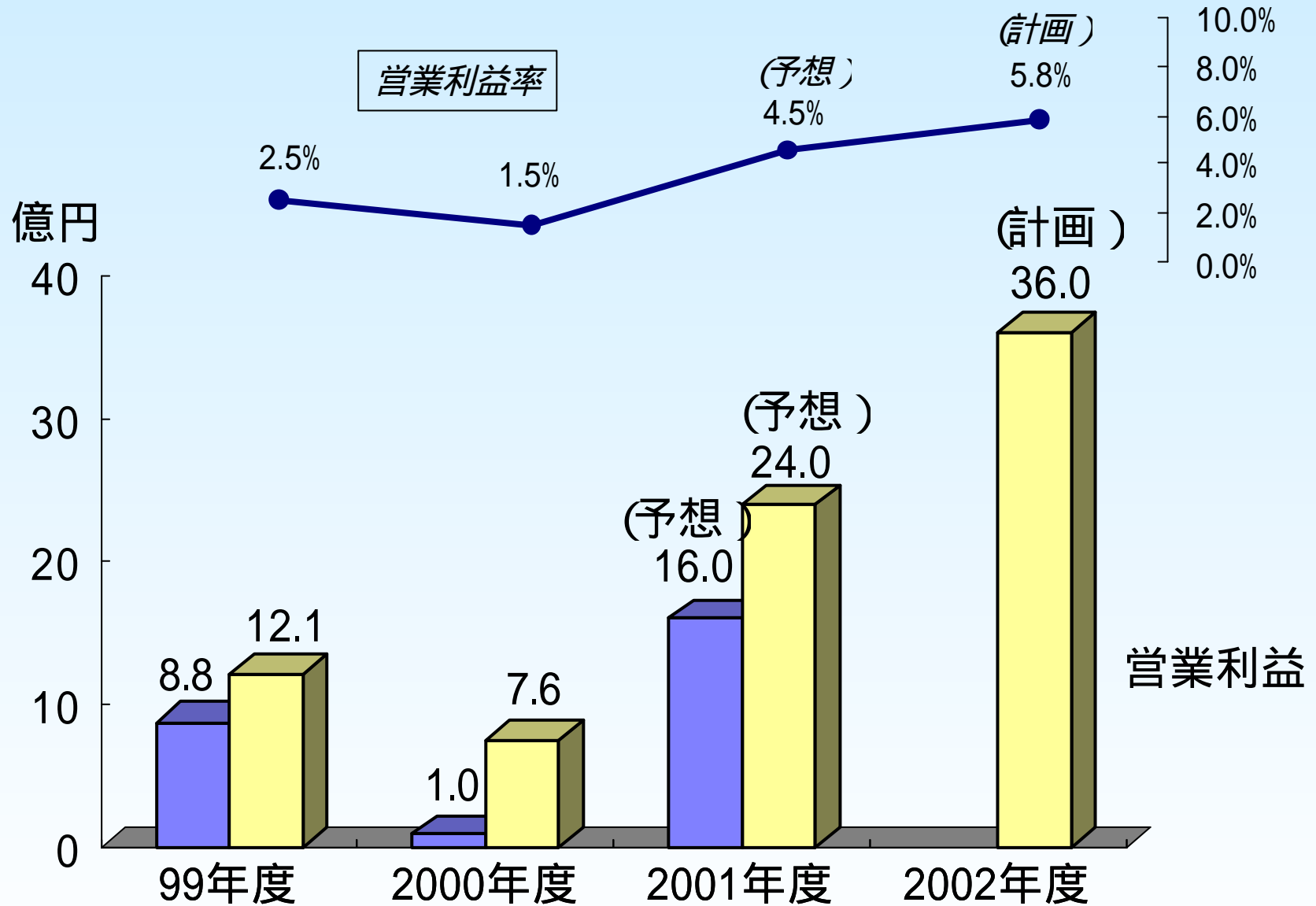
輸出額と輸出比率



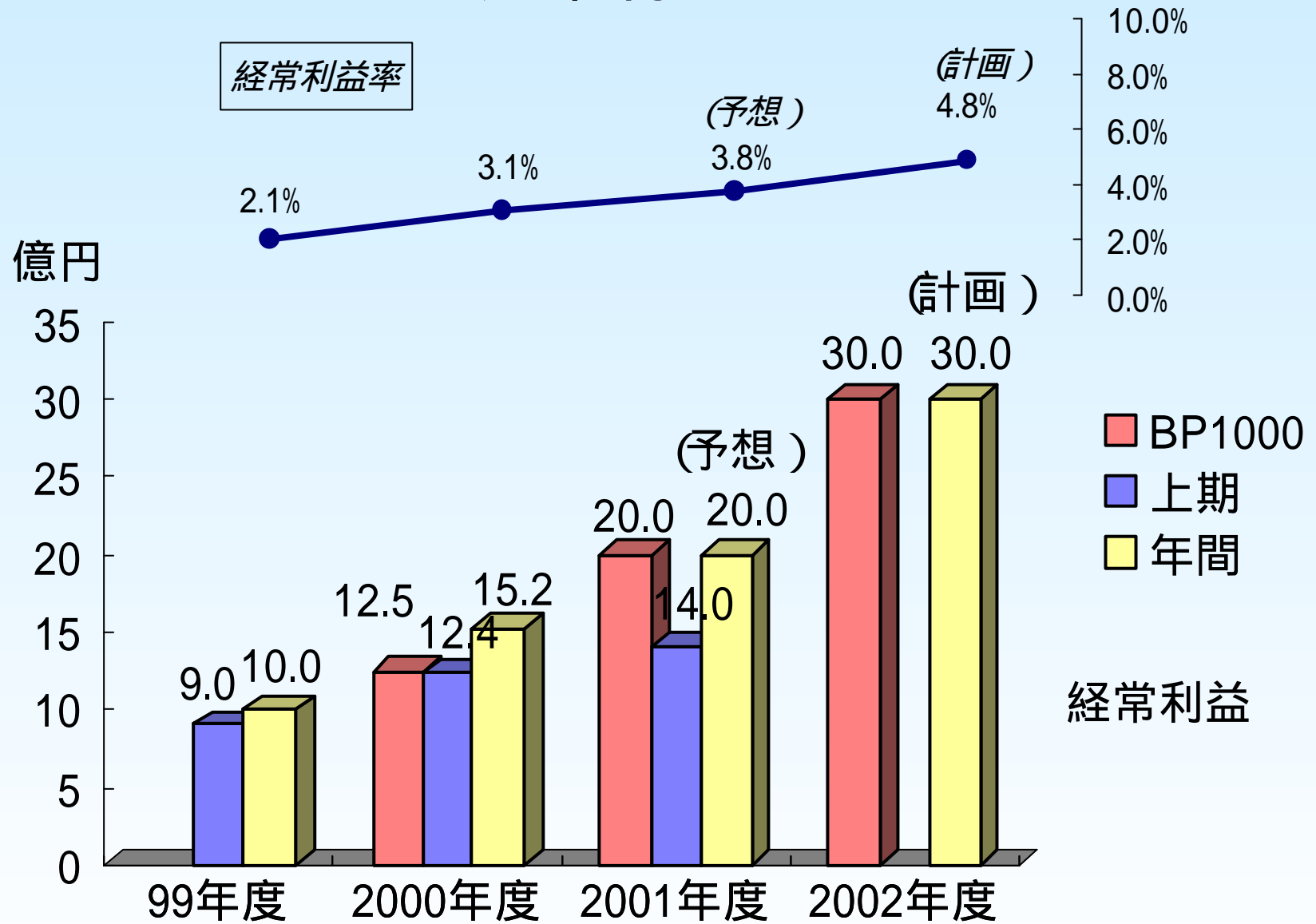
地域別輸出額



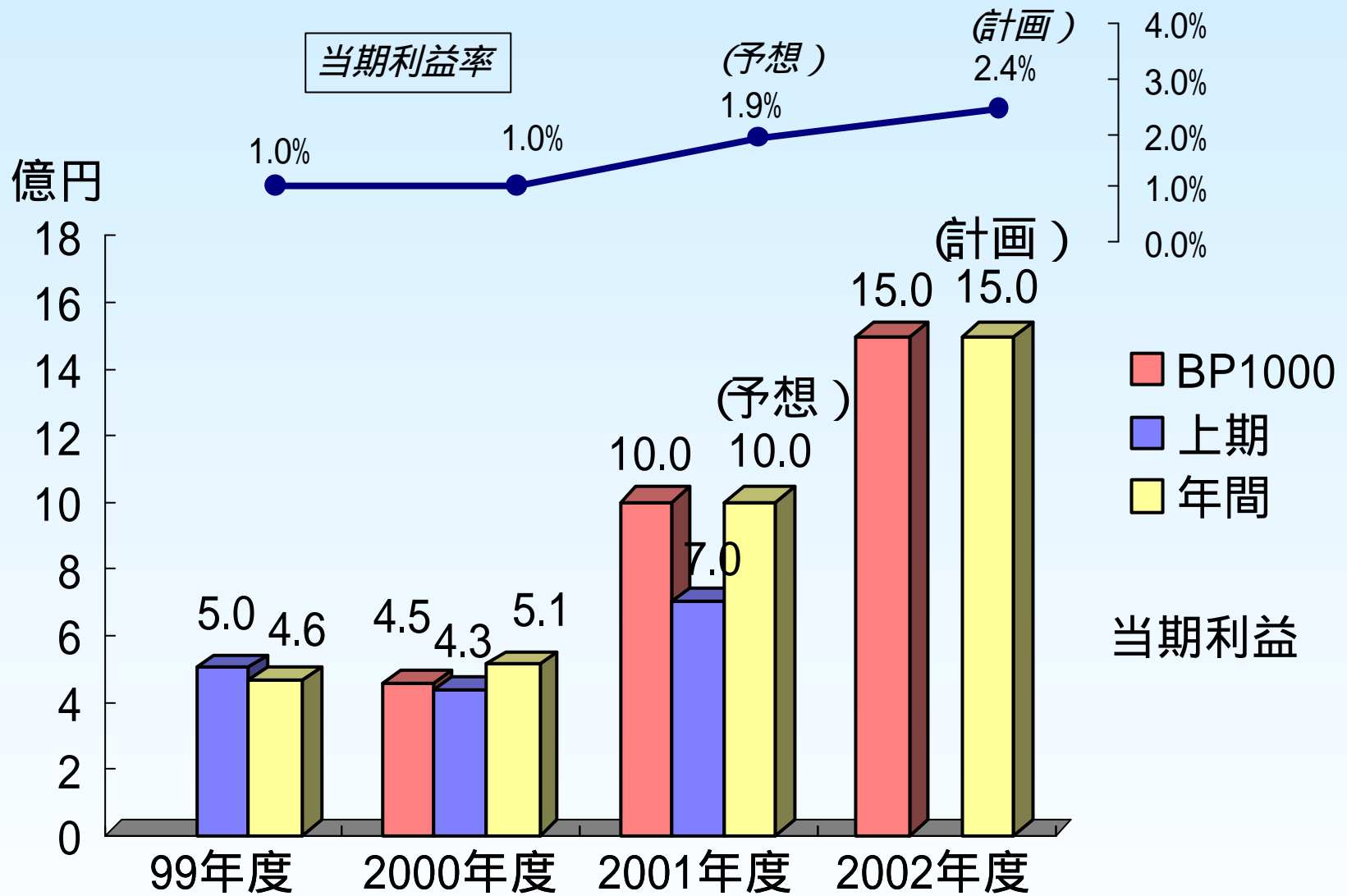
営業利益



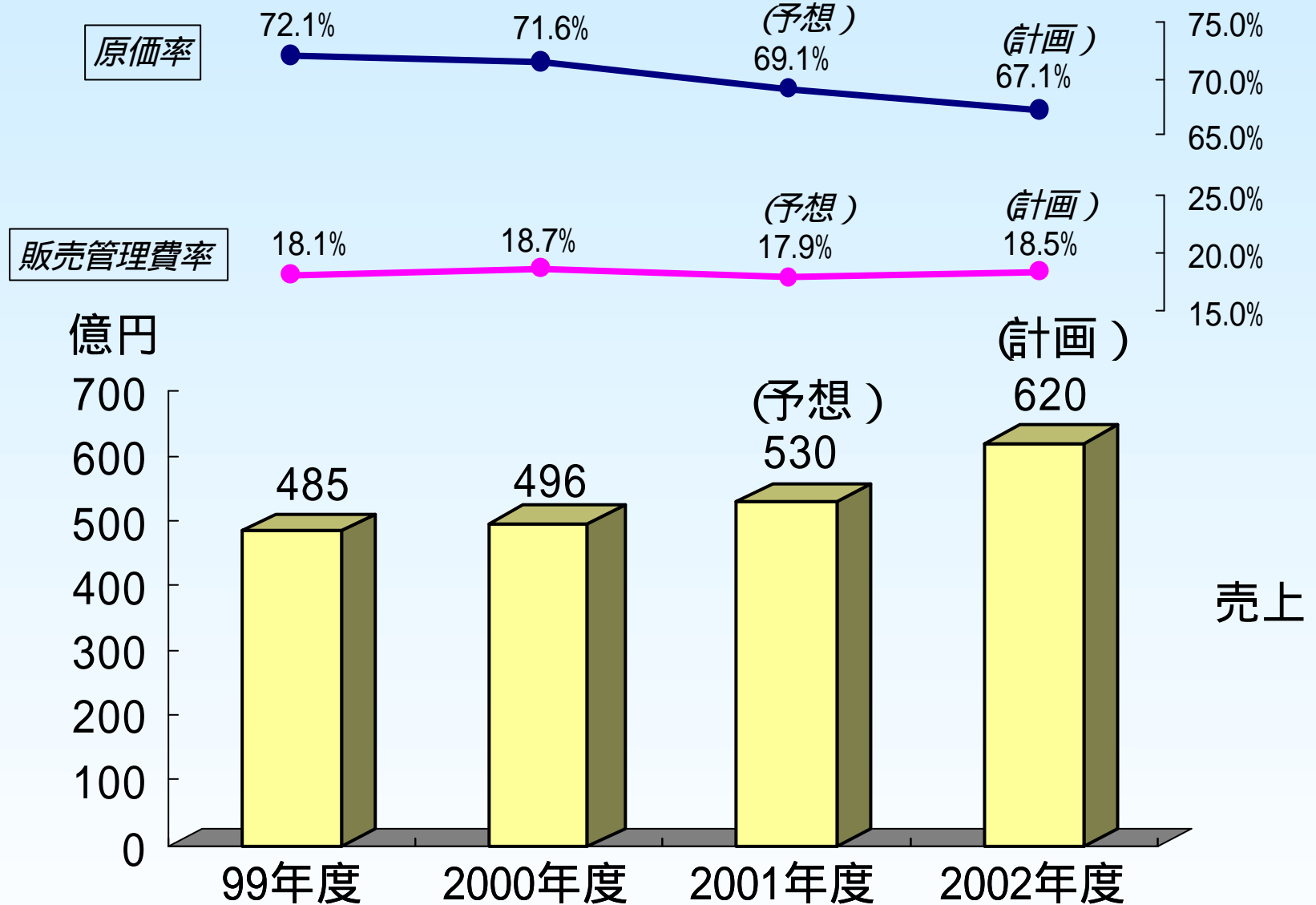
經常利益



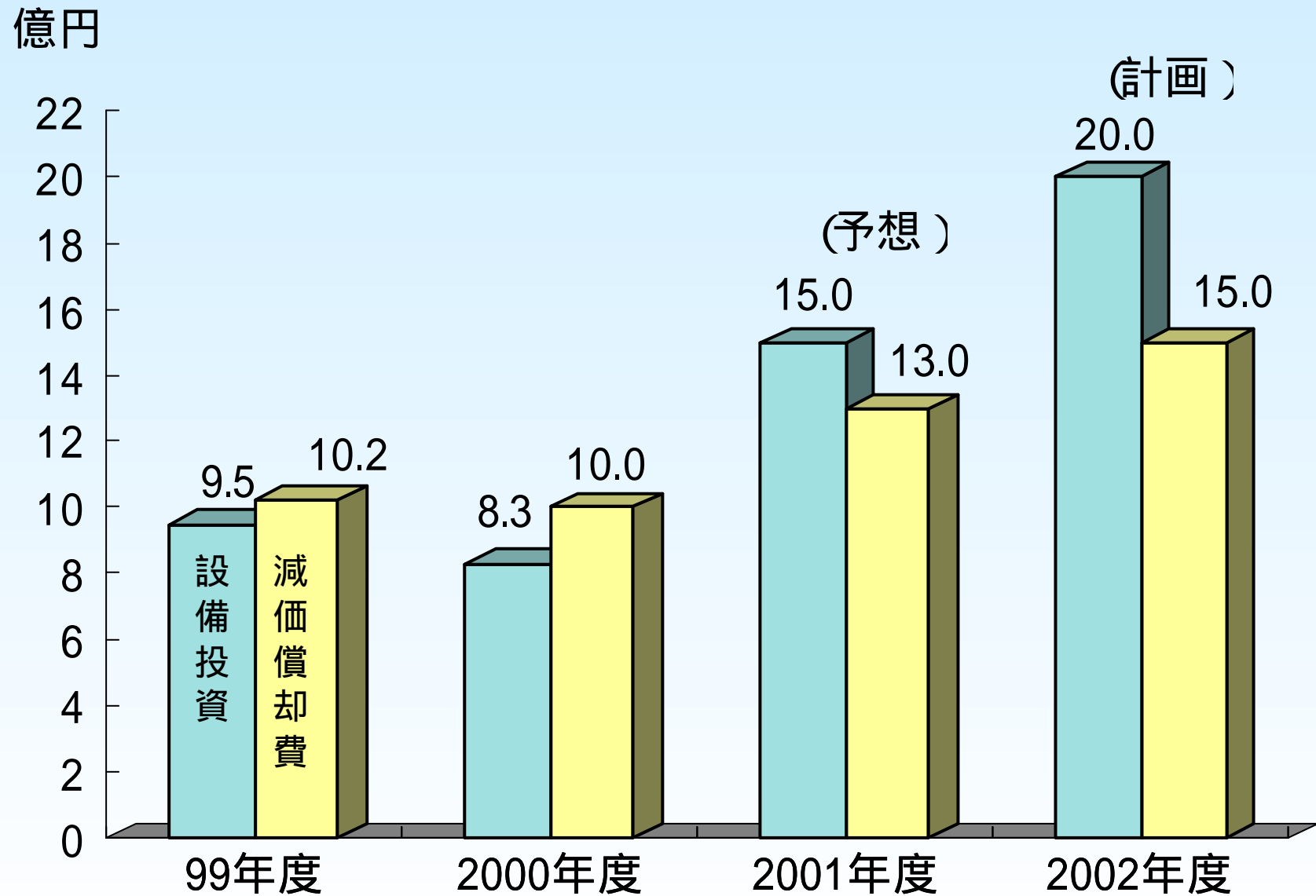
当期利益



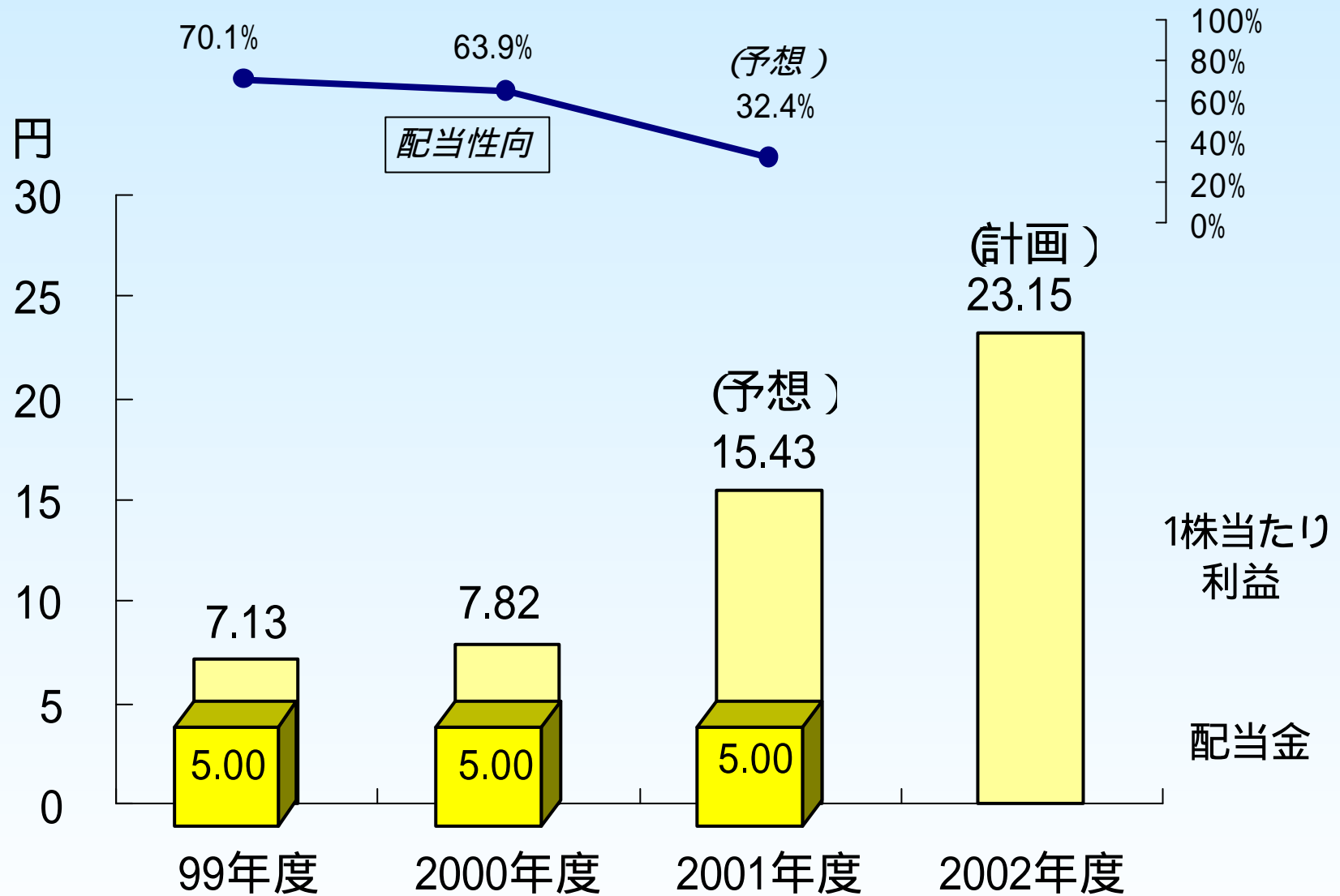
原価率と販管費率



設備投資と減価償却費



1株当たり利益と配当金

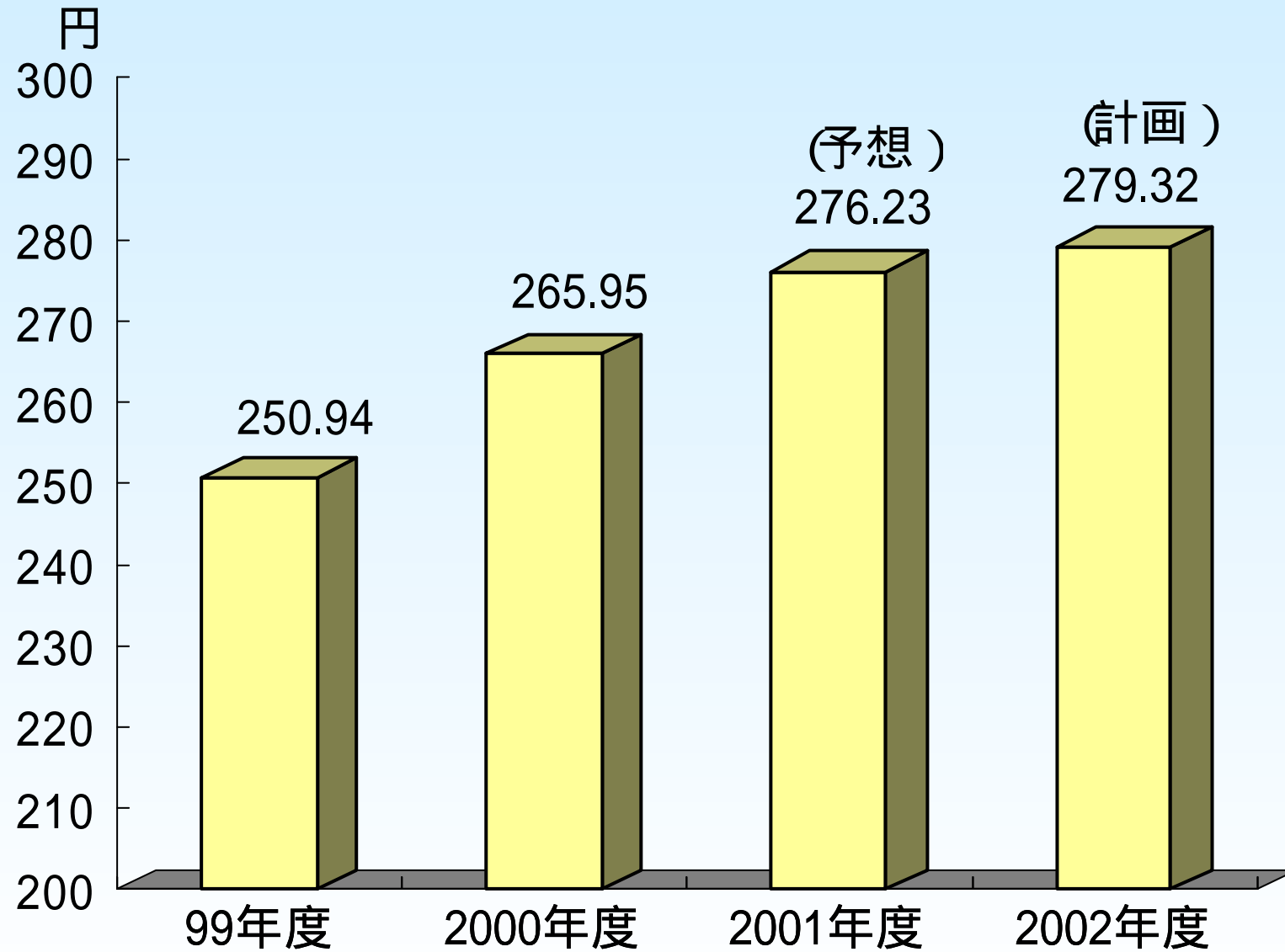


貸借対照表

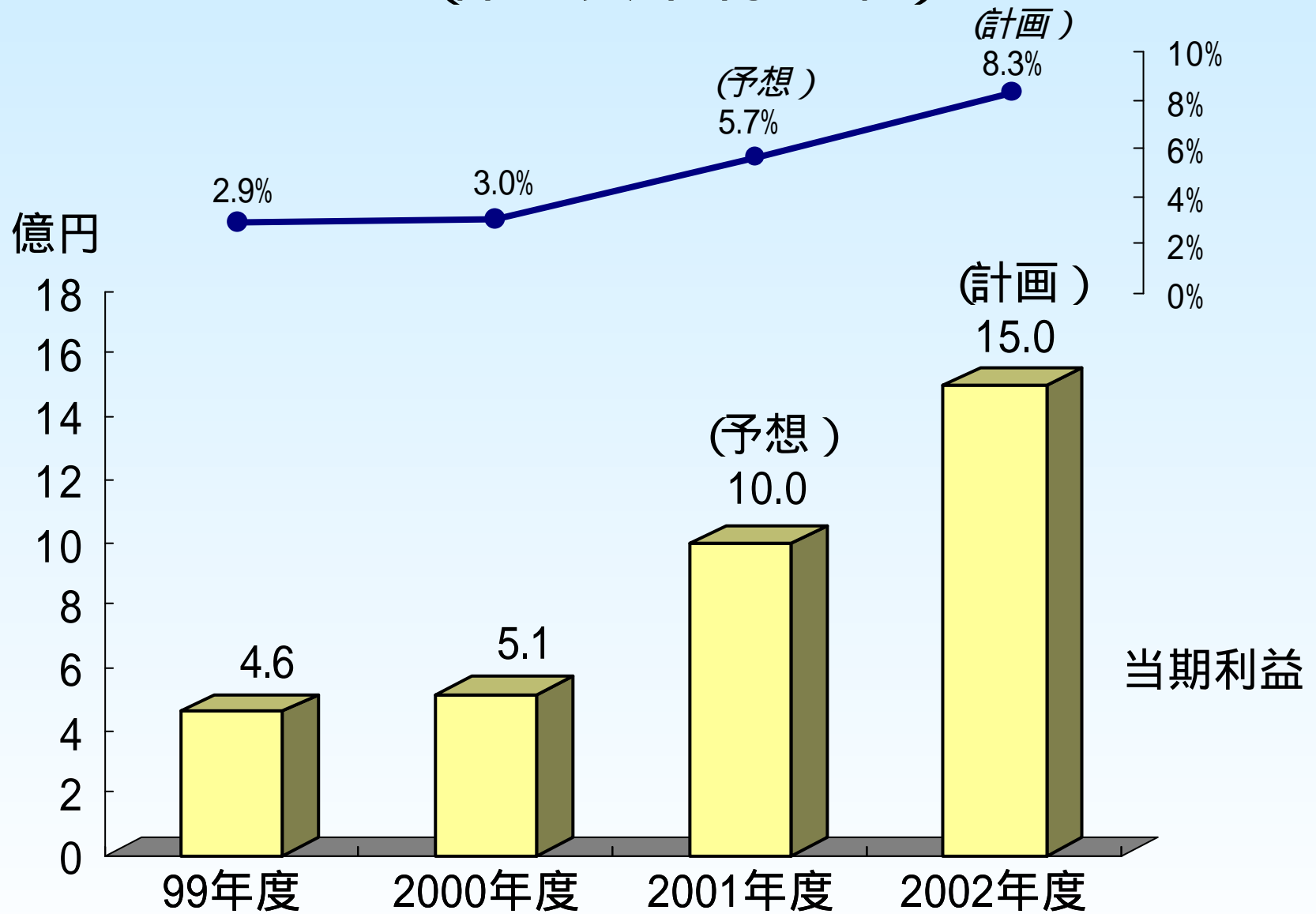
単位 : 億円

	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月
流動資産	360	369	339	330
内売掛債権	139	144	110	100
内棚卸資産	148	134	120	100
固定資産	185	202	229	224
総資産	546	571	568	554
流動負債	309	312	294	286
固定負債	74	87	95	87
株主資本	163	172	179	181
株主資本比率	29.8%	30.2%	31.5%	32.7%

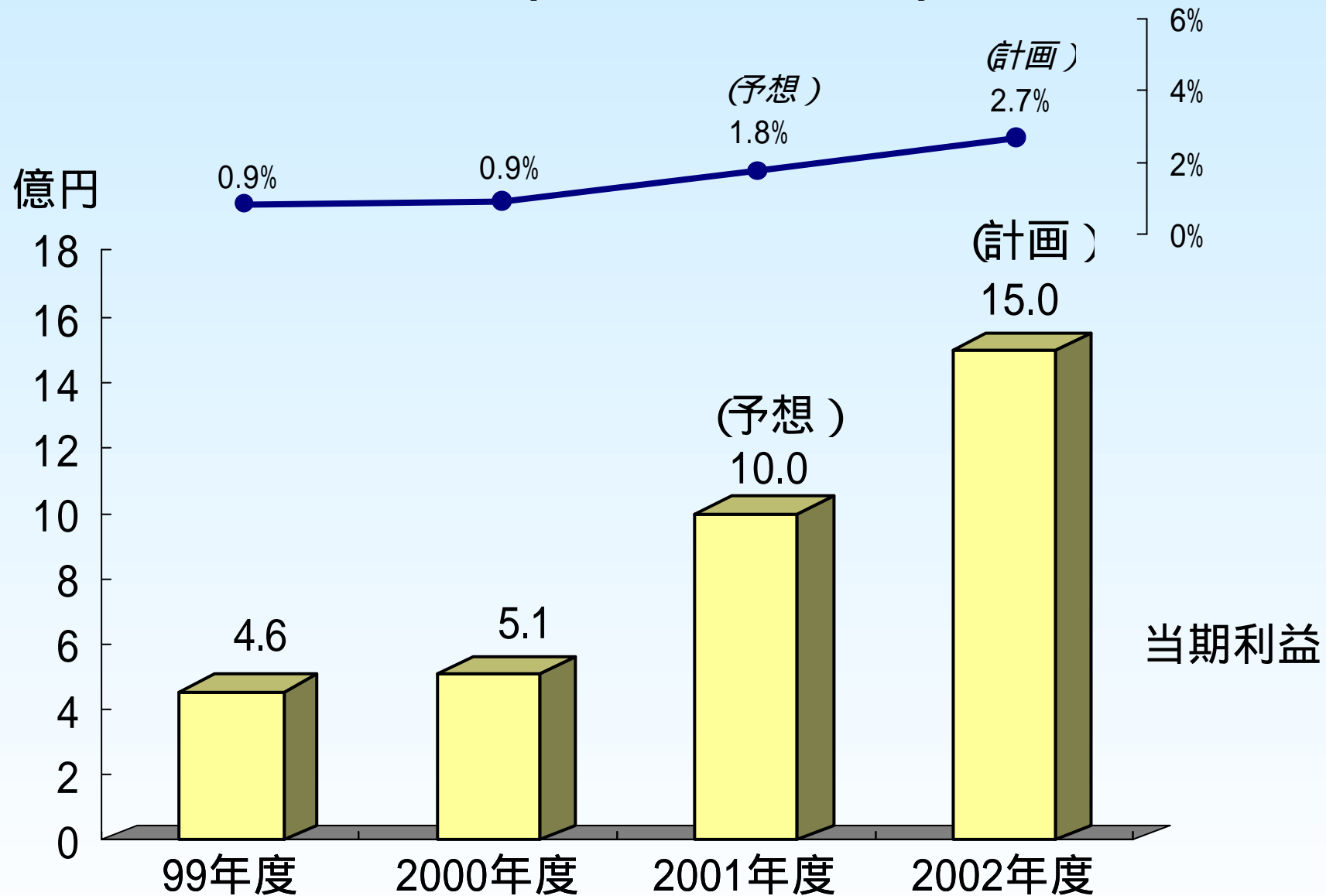
1株当たり株主資本



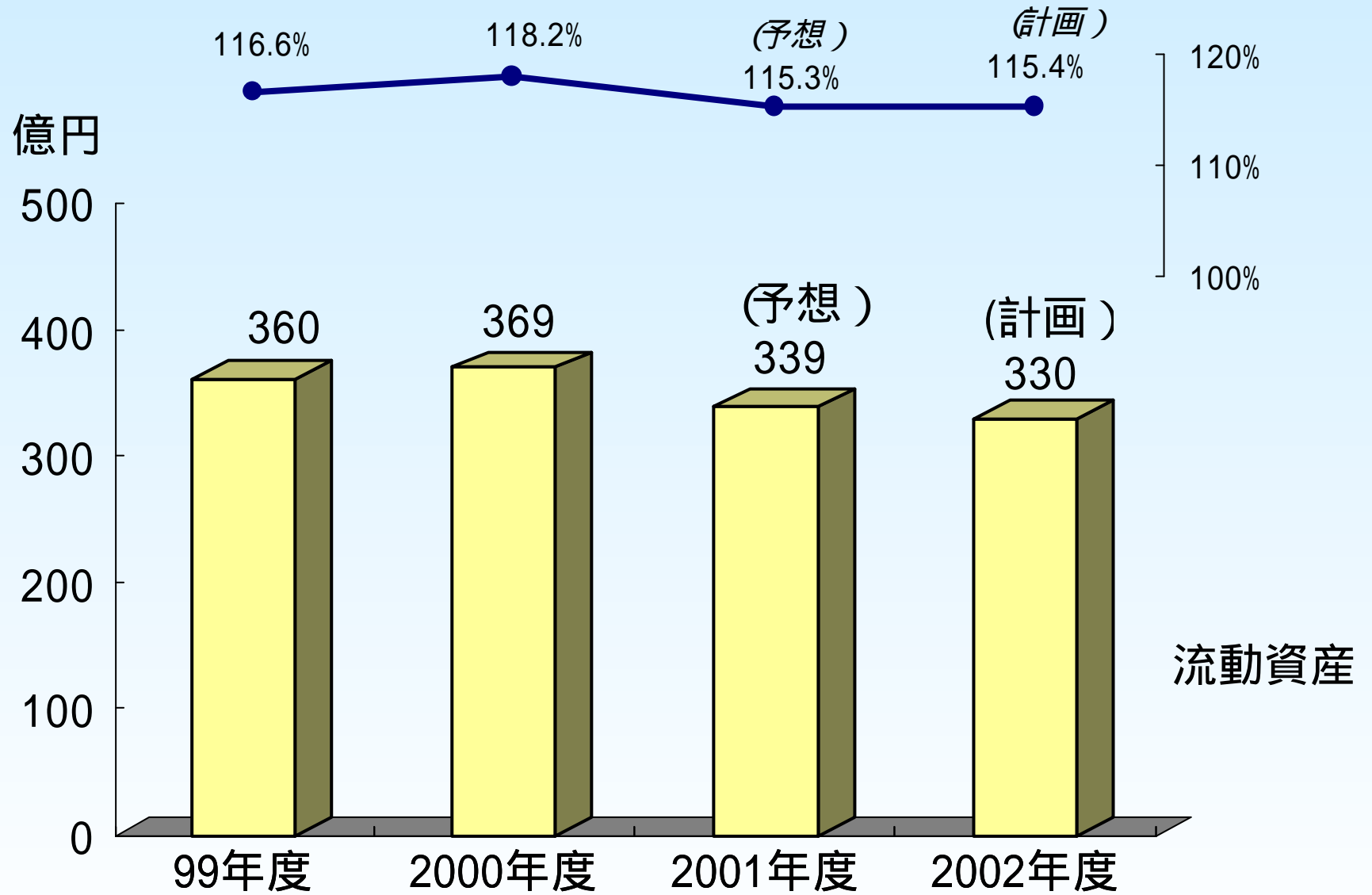
ROE (株主資本利益率)



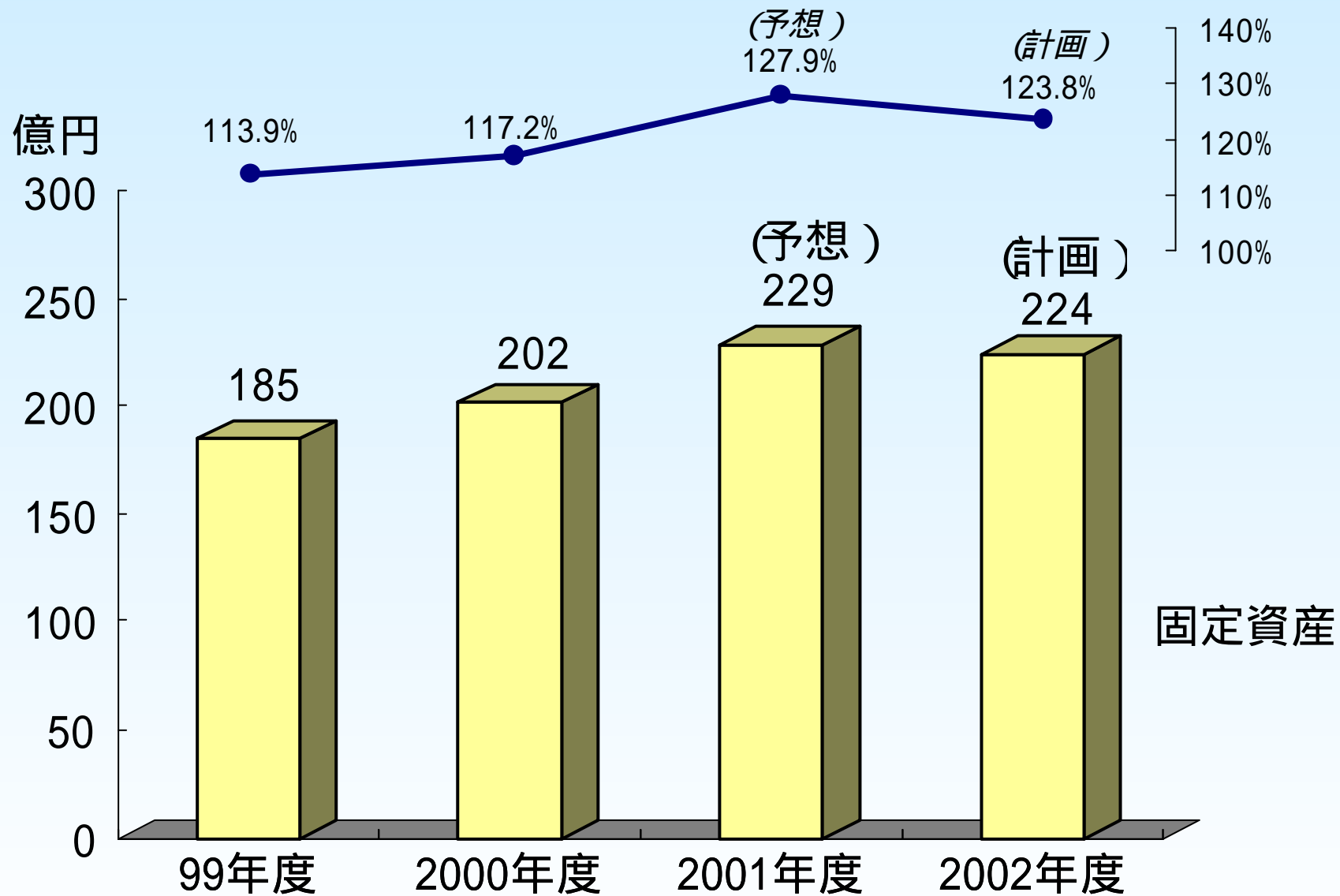
ROA (総資産利益率)



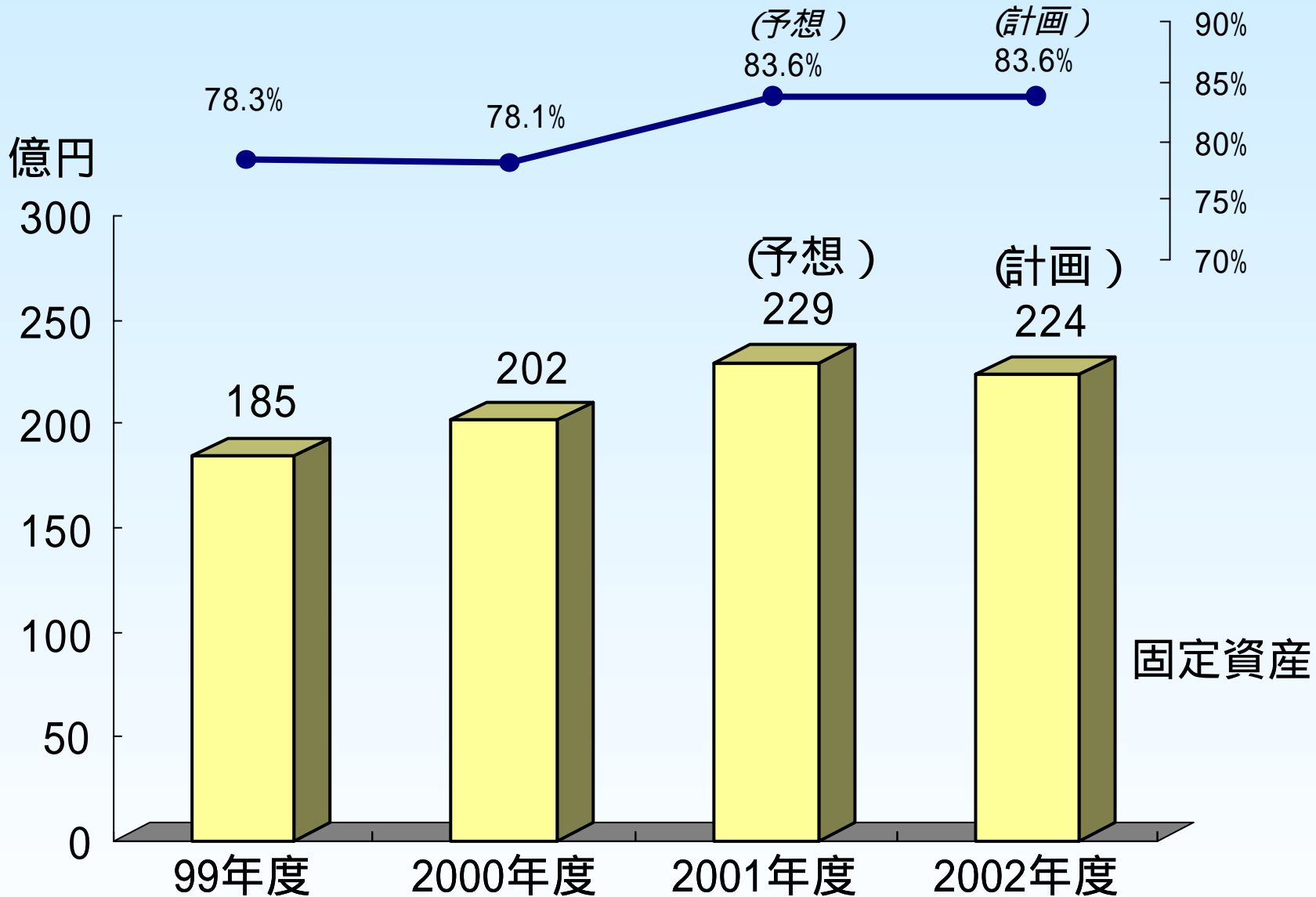
流動比率



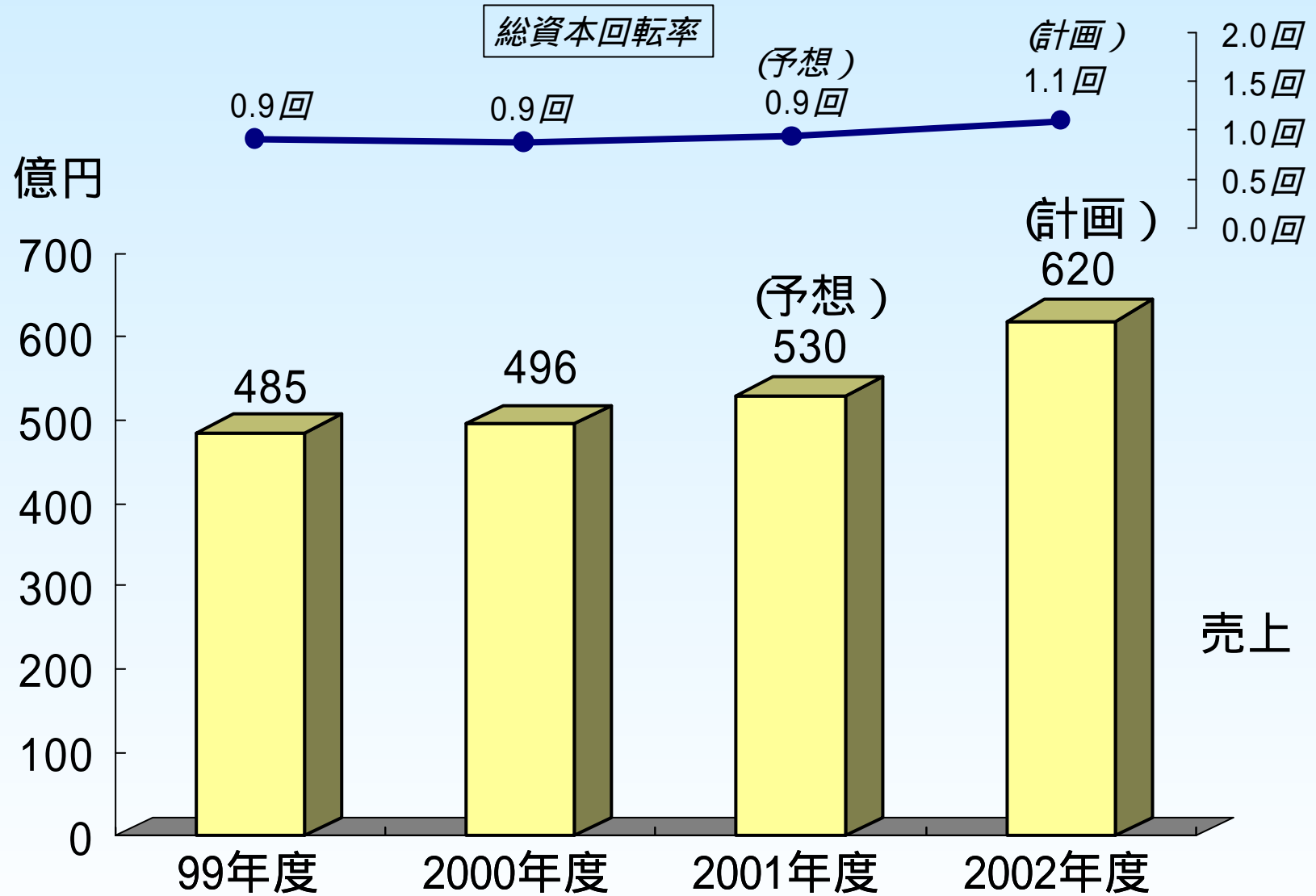
固定比率



固定長期適合率

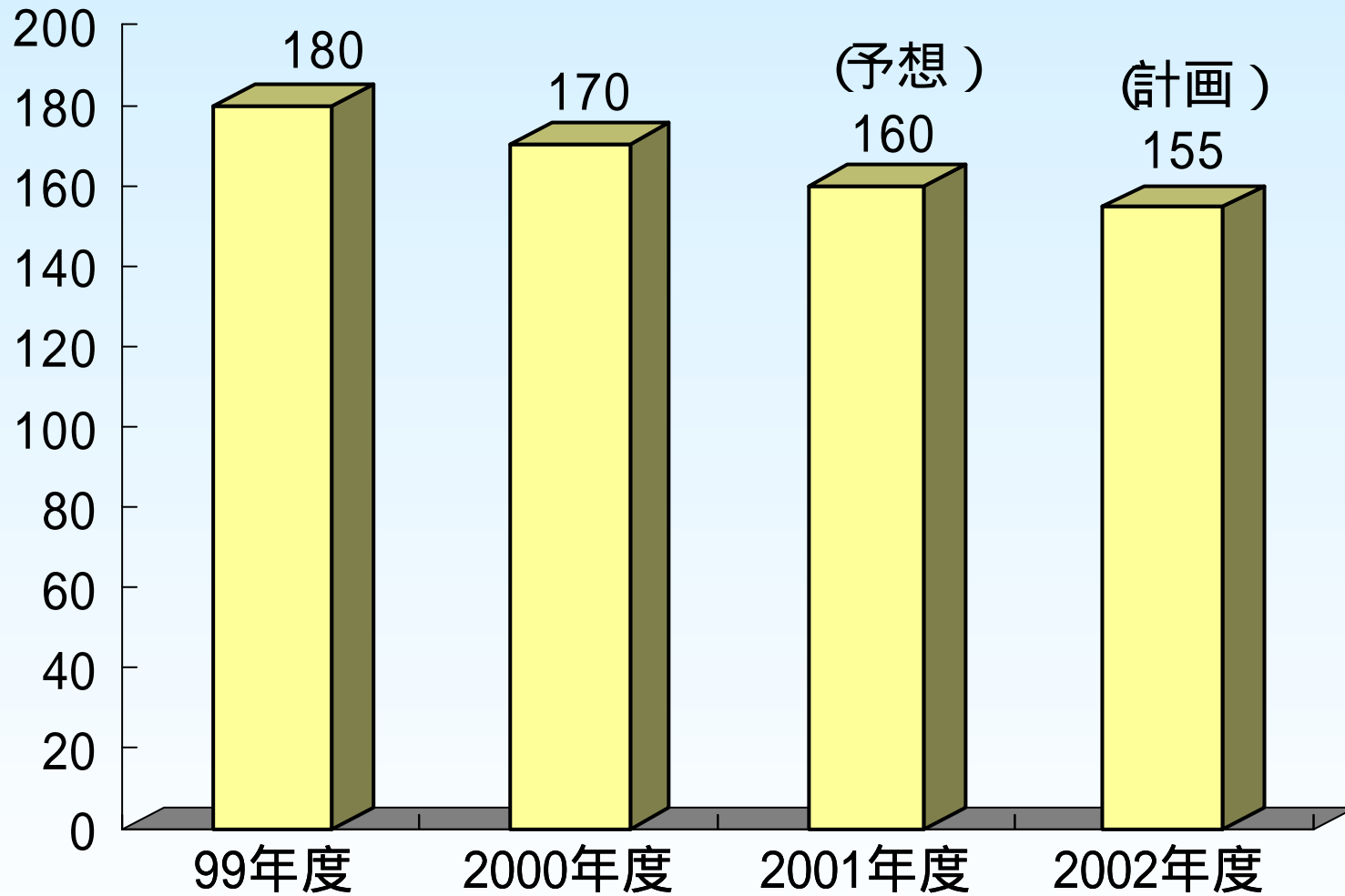


総資本回転率

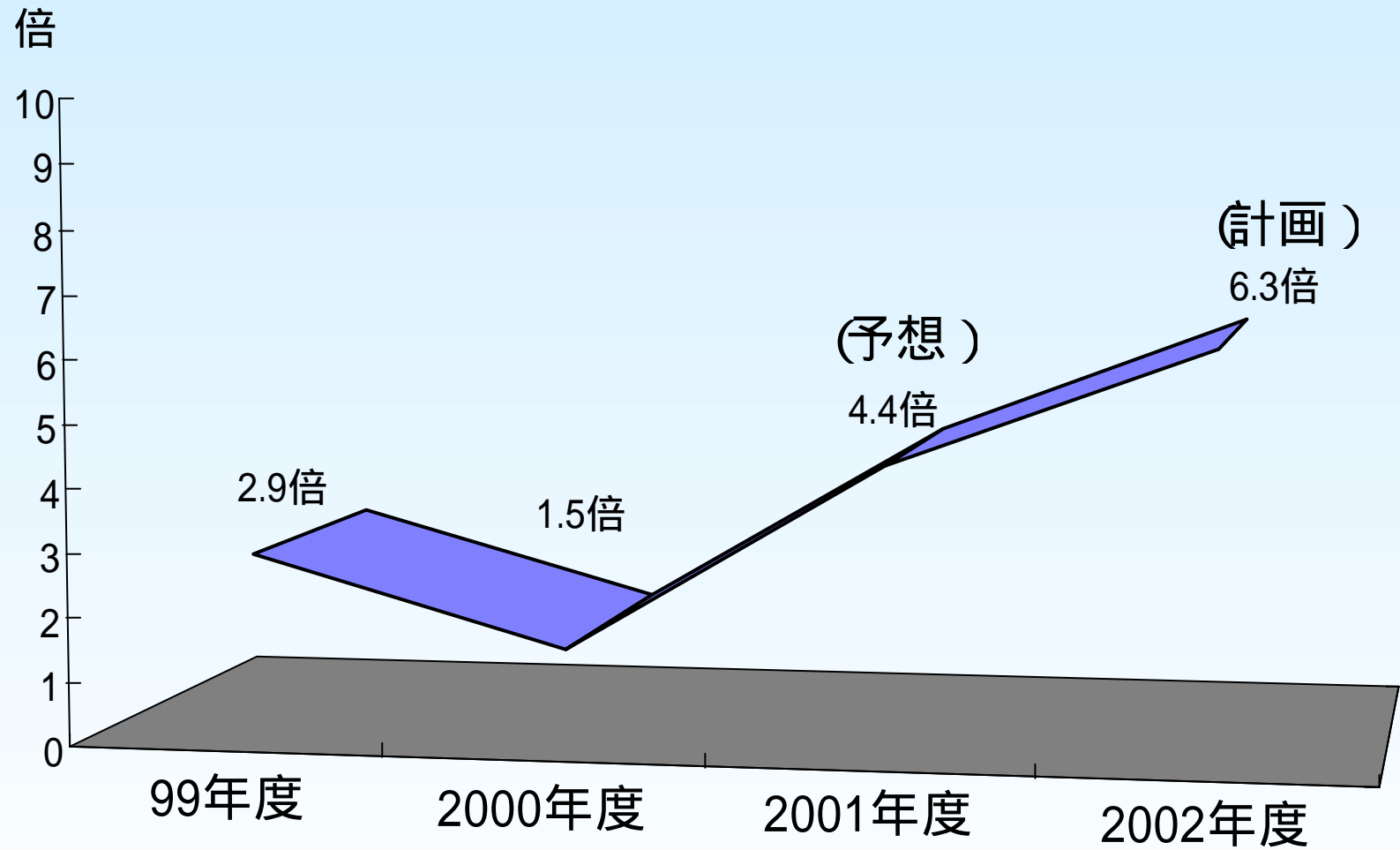


有利子負債

億円



インタレスト・カバレッジ・レシオ



今後の経営戦略

日本電子株式会社
取締役社長 江藤輝一

Bright Plan 1000

2003年度到達目標・連結重視

【連結売上】 1,000 億円

【連結経常利益】 50 億円

1000 億企業になるための8戦略

(1)事業目標の達成

(連結売上)1,000億円 (連結経常利益)50億円)

(2)市場対応型事業展開の推進

(3)1000 億販売サービス体制の構築

(4)I-Core に向けた源流部門の改革

(5)1000 億生産体制の構築と改革の完遂

(6)ソリューション経営の推進

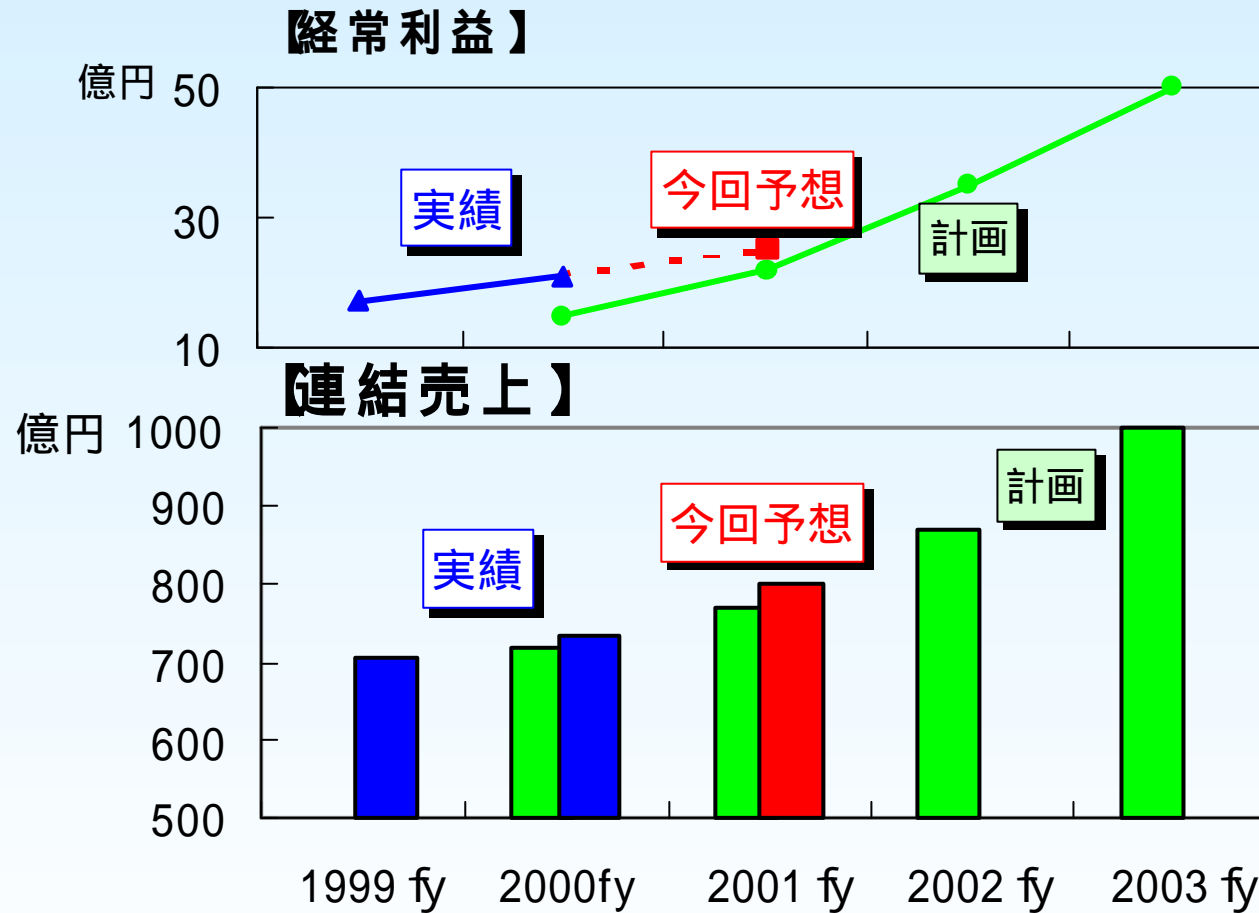
(7)グローバルネットワークの構築

(8)協業とアウトソーシングの推進

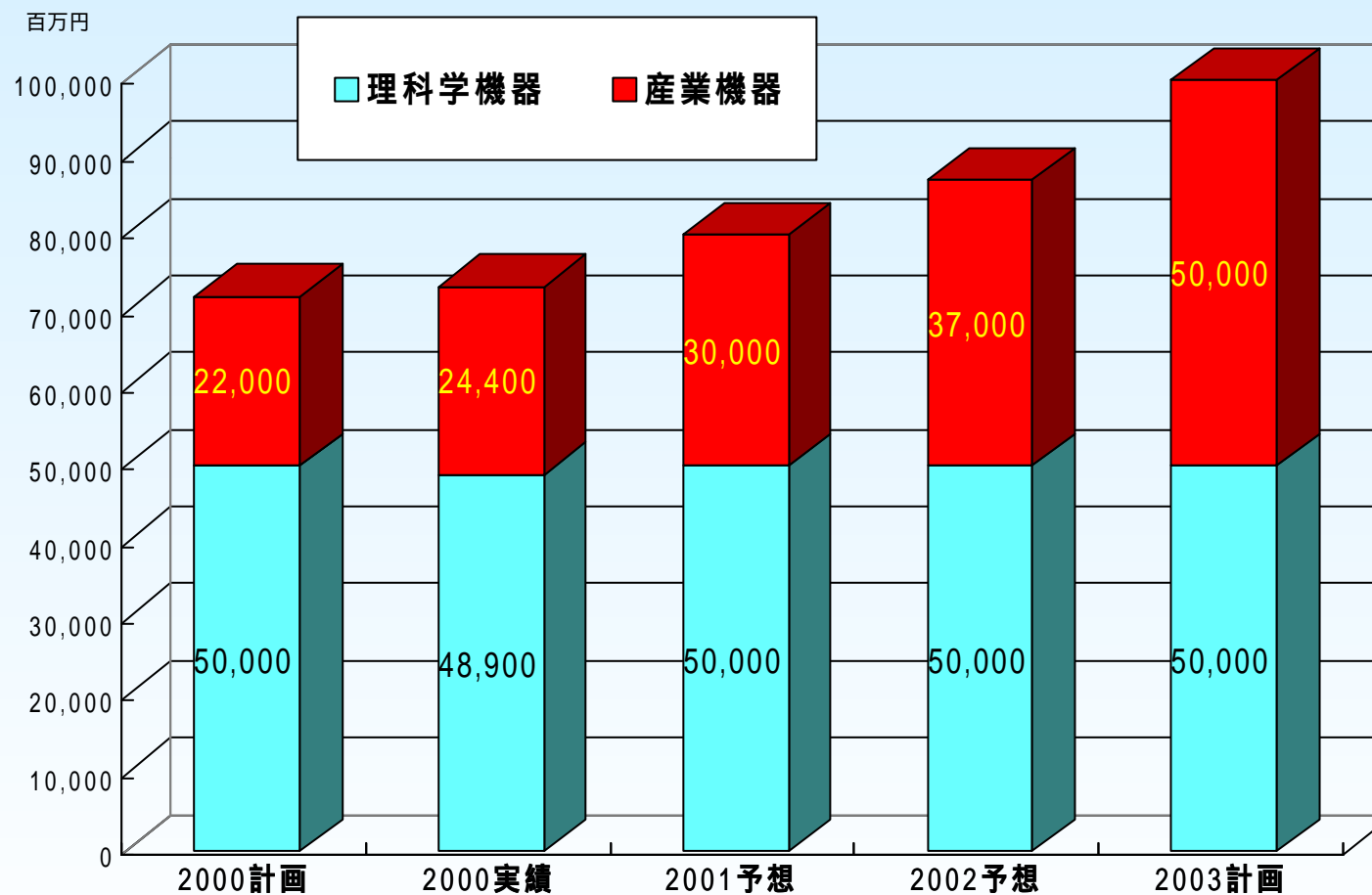
利益計画

	2000年度実績 (H12年度) 創立51年	2001年度予想 (H13年度) BP1000・初年度	2001当初計画 BP1000・初年度	2002年度計画 (H14年度) BP1000・2年度	2003年度計画 (H15年度) BP1000・3年度
【連結指標】					
連結売上高	73,315	80,000	77,000	87,000	100,000
(連単倍率)	(1.48)	(1.51)	(1.45)	(1.40)	(1.43)
連結経常利益	2,105	2,500	2,200	3,500	5,000
(連単倍率)	(1.38)	(1.25)	(1.10)	(1.17)	(1.25)
連結当期利益	818	1,200	1,200	1,800	2,400
(連単倍率)	(1.62)	(1.20)	(1.20)	(1.20)	(1.20)
株主資本	18,417	20,200	20,700	22,800	25,300
総資産額	84,602	78,200	74,300	76,000	77,600
株主資本比率	21.8%	25.8%	27.9%	30.0%	32.6%
株主資本利益率 (ROE)	4.5%	6.2%	5.8%	7.9%	9.5%
【本社単独指標】					
本社売上高	49,602	53,000	53,000	62,000	70,000
本社経常利益	1,520	2,000	2,000	3,000	4,000
(利益率)	3.1%	3.8%	3.8%	4.8%	5.7%
本社当期利益	506	1,000	1,000	1,500	2,000
(利益率)	1.0%	1.9%	1.9%	2.4%	2.9%
株主資本	17,233	17,900	17,000	18,100	19,600
総資産額	57,094	56,800	54,600	55,400	57,100
株主資本比率	30.2%	31.5%	31.1%	32.7%	34.3%
株主資本利益率 (ROE)	3.0%	5.7%	5.9%	8.3%	10.2%

利益計画 (連結売上・經常利益)



連結・セグメント別売上計画



国家戦略 科学技術基本計画 (2001.4 ~ 5年間で24兆円)とともに

重点4分野	要求機能	JEOL製品&ノウハウ
ライフサイエンス	分子構造解析	核磁気共鳴装置, 極低温電子顕微鏡, 生化学自動分析装置
情報通信	光通信用薄膜	電子銃・電源, 高密度イオンブレイキング装置
環境	有害化学物質分析	質量分析計
ナノテク・材料	ナノ計測 ナノマテリアル ナノ加工	電子顕微鏡・走査電子顕微鏡・ ウェハプロセス評価装置 走査プローブ電子顕微鏡 電子ビーム描画装置 他

世界のナノテク拠点にJEOL

- **米** : **Rice大(ノーベル賞学者Dr.スモ-リー-Lab)**
200kV電子顕微鏡他
- **英** : **Oxford大(JEOL Application Lab)**
400kV電子顕微鏡他10台弱
- **独** : **マックスプランク金属研究所**
超高压電子顕微鏡 他
- **仏** : **CNRS (Centre National de la Recherche Scientifique)**
300kV電子顕微鏡他 計10台

戦略商品による受注拡大

戦略商品	拡大要因
■ JSM-6700F JSM-6500F	ナノテク需要 , 海外需要も堅調 6700F姉妹機として本格投入
■ JBX-9000MV JBX-9300FS	米国デュポン納入実績による評価高 300mm対応直接描画の需要
■ 電子銃・電源	本格的な海外進出
■ Bio Majesty	米国市場進出

競争力ある新製品づくり

- 体制：開発本部』発足 2001.4～
- ヒト・モノ・カネの集中投資による機動的開発
 - フィールド[®]エミッション走査顕微鏡(6700F ,6500F)
 - 電子ビーム[®]描画装置(9000MV)
 - 電子銃・電源 ,高密度イオンプレーティング[®]装置
 - 生化学自動分析装置(BioMajestyシリーズ)
- World wide に通用する商品づくりの強化
(国内モデル優先の開発 & 設計思想を排除)

生産体制の整備・増強

■ クリーンルームの増設

- ・半導体事業拡大に向けた増設
- ・EBX用12室 + 3室 (6月～)



■ アウトソーシングの推進

- ・1000億生産体制に向けた外作増強
- ・地方企業への委託加工拡大
- ・海外生産の拡大

■ 生産スペースの整備・拡大

- ・内作工場の高付加価値化
- ・物流の簡素化、工期短縮